

デジタル スチルカメラ

取扱説明書



ヘルプガイド (Web取扱説明書)

Web上のマニュアル「ヘルプガイド」もご覧ください。パソコンやスマートフォンでご覧いただけます。

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1710/ja/>

やりたいことから探す

準備する

基本操作を確認する

静止画を撮る

動画を撮る

見る

カメラの設定を変える

パソコンでできること

ワイヤレス機能を使う

機能を一覧で確認する

Cyber-shot

DSC-RX0

警告 安全のために

→ 112~115ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・
においがしたら
煙が出たら

- ➔
- ① 電源を切る
 - ② 電池をはずす
 - ③ 相談窓口につながる

裏表紙に相談窓口の連絡先があります。

危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

電池について

安全のために文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含まれます。

お使いになる前に必ずお読みください

メニューの表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したり、USBケーブルを抜いたりすると、メモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i記録対応機器です。
- 本機は、1080 60p記録対応機器です。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成するため、次の操作まで時間がかかることがあります。管理ファイルエラーが発生したときは、PlayMemories Homeですべての画像をパソコンに取り込んでから、本機でメモリーカードをフォーマットしてください。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット] (21ページ)を行ってください。
- 必ず事前のためにし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- レンズに向けてレーザーなどの光線を直接照射しないでください。イメージセンサーが破損し、カメラが故障することがあります。
- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。カメラの内部が故障することがあります。
- 強力な電波を出すとこころや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(109ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

連続撮影時のご注意

連続撮影時、モニターに撮影画面と黒い画面がすばやく交互に表示されることがあります。このとき、モニターを見続けることにより、体調不良などの不快な症状が出る可能性があります。不快な症状が出たときは、本機の使用を控え、必要に応じて医師にご相談ください。

ZEISSレンズ搭載

本機はZEISSレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。

本機のレンズは、ドイツカール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

モニターについてのご注意

モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。また国や地域によって発売されていない場合があります。

長時間撮影についてのご注意

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。十分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合には特にご注意ください。
 - 気温の高い環境でご使用になる場合
 - 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合
 - [自動電源OFF温度]を[高]に設定してご使用になる場合

[自動電源OFF温度][高]設定時のご注意

[自動電源OFF温度]を[高]に設定すると、通常より記録時間を長くすることができますが、それにより本機が熱くなることがあります。

[高]設定時は本機を手持ちで撮影せず、三脚などをご利用ください。



画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)にて制定された統一規格 “Design rule for Camera File system” (DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は、ともに保証いたしません。

XAVC S動画とAVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

XAVC S動画とAVCHD動画をパソコンに取り込むときは、ソフトウェア PlayMemories Homeを下記からインストールして使用してください。
<http://www.sony.net/pm/>

認証マークの表示について

本機が対応している認証マークの一部は、本機の画面上で確認することができます。MENUボタン →  (セットアップ) → [認証マーク表示]を選択してください。本機の故障などの問題により表示できない場合は、相談窓口にご相談ください。

本機で撮影した動画を、他機で再生する際のご注意

- 本機で記録した動画は本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また他機で記録した動画は本機で再生できない場合があります。
- ハイビジョン画質 (HD) で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質 (HD) で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質 (HD) のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。
- XAVC Sの動画は、対応機器以外では再生できません。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局 (免許を要する無線局) 等 (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS4/OF4/XX8

2.4 : 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX : 変調方式が DS-SS/OFDM/その他の方式、であることを示します。

4 : 想定される与干渉距離が40 m以下であることを示します。

8 : 想定される与干渉距離が80 m以下であることを示します。

■■■■■ : 2400 MHz～

2483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

ワイヤレスLANに関するご注意

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN 製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ワイヤレスLAN ではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLAN の使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

ワイヤレスLAN機能の使用地域について

本機のWi-Fi機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国、または地域の電波関連規制等に違反する恐れがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

著作権についてのご注意

- あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- [著作権情報]の不正使用を未然に防ぐため、カメラを貸したり譲渡するときには、[撮影者名設定]と[著作権者名設定]欄は必ず空欄にしてください。
- [著作権情報]の使用によってトラブルや損害が生じても、弊社では一切の責任を負いかねます。

録画・再生に際してのご注意

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、また、記録内容が破損・消滅した場合、画像や音声など記録内容の補償については、ご容赦ください。大切な記録内容はバックアップを取っておくことをおすすめします。

ACアダプター/チャージャーについて

ACアダプター/チャージャーは、お手近なコンセントをお使いください。不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。充電ランプがある機種は、ランプが消えても電源からは遮断されません。

防水/防じん・耐衝撃性能について

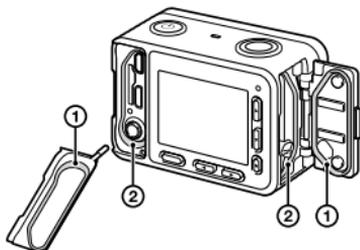
本機は防水/防じん性能、耐衝撃性能を強化していますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外となります。

- JIS保護等級IP68相当の防水/防じん性能があります。水深10 m/60分までの撮影が可能です。
- 高い水圧がかかることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- 温泉で使用しないでください。
- 推奨動作温度0°Cから+40°Cの水温でご使用ください。
- 耐衝撃性能はMIL-STD810G C1 Method516.7-Shock(米・国防省衝撃テスト基準)に準拠した厚さ5cmの合板上での2.0 mからの落下にて当社内部テストをクリアしております。*
* すべての状態において、無破損・無故障・防水/防じん性能を保証するものではありません。
- 耐衝撃性能については、傷やへこみがつかないことを保証するものではありません。
- 落下などの強い衝撃を与えた場合は、防水/防じん性能を保証しません。修理相談窓口での点検をおすすめします(有料)。
- 付属品は防水/防じん・耐衝撃仕様ではありません。

水中・水辺で使用する前のご注意

- 砂、髪の毛、ほこりなどの異物を、バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーに挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水の原因となります。

- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面に傷がついていないことを確認してください。わずかな傷でも浸水の原因になります。傷がついてしまった場合は、修理相談窓口にご相談いただき、防水パッキンを交換してください(有料)。



- ① 防水パッキン
- ② 防水パッキンの当たる面

- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。バッテリー充電時やケーブル使用時に、防水パッキンに触れて傷をつけないようにしてください。
- 水辺での使用中や、手に水や砂がついているときは、絶対にバッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの開け閉めをしないでください。水や砂が本機の中に入って故障の原因となります。カバーを開ける前に必ず、「水中・水辺で使用した後のお手入れ」を行ってください。
- 完全に乾いた状態でカバーを開けてください。
- 必ずバッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーが確実にロックされていることを確認してください。

水中・水辺で使用中的ご注意

- 水中に飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。
- 水中・水辺で、バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの開け閉めを行わないでください。
- 本機は水中で沈みます。水没防止のためにストラップなどをご使用ください。
- バッテリーカバーやメモリーカード/端子カバーを開けた状態では、防水/防じん性能は保証されません。
- 「水中で撮る」(50ページ)もあわせてご確認ください。

水中・水辺で使用した後のお手入れ

- 使用後は60分以内で、バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーを開ける前に必ず水洗いしてください。見えないところに水や砂が入り込んでいることがあり、塩、砂等を付着したままにしておくとう防水性能が劣化します。
- 容器にためた真水に5分程度つけ置いてから、水の中で本体を揺すったり、各ボタンを動かして、ボタンのすきまに入った塩、砂等をしっかりと洗い流してください。



- 洗ったあと、柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で十分に乾かしてください。ドライヤーの熱風で乾燥させると、変形により、防水性能が劣化するおそれがあるため行わないでください。

- バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの内側に水滴や異物が残っていたら、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- 水につけたあとは、しばらく乾いた布の上に本機のレンズ面を下にして置き、水を抜いてください。水を抜いたあと、撮影時に音声が録音されていなかったり、小さい音で録音されてしまう場合は、内蔵マイク(17ページ)から水が抜け切れていない可能性があります。十分に水抜きしてからご使用ください。
- 水につけた際には泡が出ることがありますが、故障ではありません。
- 日焼け止めやサンオイルが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。また、防水パッキン部に付着するとパッキンが劣化することがあります。付着させてしまった場合は速やかに拭き取ってください。
- 塩水に浸した状態や塩水が付着した状態で放置しないでください。腐食や変色、防水性能の劣化の原因になります。
- 防水性能を維持するために、1年に1回はお買い上げ時の販売店か修理相談窓口にご相談いただき、バッテリーカバーおよびメモリーカード/端子カバーの防水パッキンを交換することをおすすめします(有料)。
- 水深10m付近では水圧によりモニターの表面がたわむことがありますが、故障ではありません。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

| | |
|------------------------|----|
| 安全のために..... | 2 |
| お使いになる前に必ずお読みください..... | 3 |
| 防水/防じん・耐衝撃性能について..... | 7 |
| 「ヘルプガイド」について..... | 13 |

やりたいことから探す

| | |
|------------------|----|
| やりたいことから探す | 14 |
|------------------|----|

準備する

| | |
|-----------------------------|----|
| 本体と付属品を確認する | 16 |
| 各部の名前を確認する | 17 |
| バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる | 20 |
| メモリーカードをフォーマットする | 21 |
| メモリーカードを取り出す | 21 |
| バッテリーを取り出す | 22 |
| バッテリー充電と使用可能枚数・時間..... | 23 |
| パソコンに接続して充電する..... | 24 |
| バッテリーの使用時間と撮影可能枚数 | 25 |
| 外部電源で本機を使う | 26 |
| 日付と時刻を設定する | 27 |
| 日付と時刻を確認する/合わせ直す | 28 |

基本操作を確認する

| | |
|----------------------------|----|
| 上下左右ボタン/●(決定)ボタンの使いかた..... | 29 |
| Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ | 30 |
| MENUボタンで選ぶ | 31 |

静止画を撮る

| | |
|---|--|
| 静止画を撮る：自動で最適な設定で撮る(オート撮影) ...32 | |
| 状況を自動判別して撮る (おまかせオート/プレミアムおまかせオート)33 | |
| オート撮影の特徴 34 | |
| モニター表示を変える (DISP) 35 | |
| 静止画のサイズを選ぶ 36 | |
| 画質を選ぶ (RAW/JPEG) 37 | |
| 撮影モードを変える 38 | |
| シャッタースピードを好みの設定にする (マニュアル露出) 39 | |
| ピントを合わせる 40 | |
| ピント合わせの方法を選ぶ 40 | |
| ピントを合わせるエリアを選ぶ (フォーカスエリア) 40 | |
| ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス) 41 | |
| 好みの画像の仕上がりで撮る (クリエイティブスタイル) 43 | |
| 明るさを調整する(露出補正) 45 | |
| ISO感度を選ぶ 46 | |
| 連続して撮る(連写/ブラケット) 47 | |
| セルフタイマーで撮る 49 | |
| 水中で撮る 50 | |
| 撮影機能を自分好みにカスタマイズする 51 | |
| 登録した設定を呼び出して撮影する (MR) 51 | |
| Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える 51 | |
| カスタムキーの設定機能を変える 52 | |

動画を撮る

| | |
|--|----|
| 動画を撮る：自動で最適な設定で撮る(オート撮影)..... | 54 |
| 動画撮影時の設定を変える..... | 55 |
| 動画の記録方式/画質を選ぶ..... | 55 |
| シャッタースピードを設定して動画を撮る (マニュアル露出)..... | 57 |
| ピント合わせの方法を選ぶ(プリセットフォーカス/ マニュアルフォーカス)..... | 57 |
| あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロフィール)..... | 58 |
| スーパースローモーション撮影をする (ハイフレームレート撮影)..... | 60 |
| 4K動画をHDMI出力する..... | 64 |
| HDMI 4K映像出力..... | 64 |

見る

| | |
|------------------|----|
| 静止画を見る..... | 65 |
| 動画を見る..... | 66 |
| 素早く探す(一覧表示)..... | 67 |
| 削除する..... | 68 |
| その他の再生機能を使う..... | 68 |

カメラの設定を変える

| | |
|-------------------|----|
| カメラを上下反転して撮る..... | 69 |
| 電子音の設定を変える..... | 69 |
| 録画ランプの設定を変える..... | 70 |
| 静止画に撮影日付を入れる..... | 70 |

パソコンでできること

| | |
|---|----|
| ソフトウェアを活用する..... | 71 |
| パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home)..... | 72 |

ワイヤレス機能を使う

| | |
|---|----|
| Wi-Fi/Bluetooth機能を使う | 73 |
| スマートフォン用アプリをインストールする (PlayMemories Mobile) | 73 |
| スマートフォンからカメラを操作する | 74 |
| Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する (シングル接続) | 74 |
| Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する (マルチ接続) | 77 |
| Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの 電源を入/切する | 81 |
| Wi-Fiでスマートフォンに画像を転送する | 84 |
| Wi-Fiでパソコンに画像を保存する | 85 |

機能を一覧で確認する

| | |
|------------------------|----|
| MENUボタンで選ぶ機能一覧 | 87 |
| 📷1 (撮影設定1) | 87 |
| 📷2 (撮影設定2) | 90 |
| 🌐(ネットワーク) | 93 |
| ▶(再生) | 94 |
| 🔧(セットアップ) | 94 |
| 撮影モードごとの設定できない機能 | 97 |
| モニターに表示されるアイコン一覧 | 98 |

その他

| | |
|----------------------------|-----|
| 使用できるメモリーカード | 102 |
| 静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間 | 103 |
| 静止画 | 103 |
| 動画 | 104 |
| 故障かな?と思ったら | 106 |
| 使用上のご注意 | 109 |
| 保証書とアフターサービス | 111 |
| 安全のために | 112 |
| 主な仕様 | 116 |
| 索引 | 119 |

「ヘルプガイド」について



「ヘルプガイド」はオンラインで見るマニュアルです。
パソコンやスマートフォンでご覧ください。

以下の機能など、さらに詳しい使いかたをご覧ください。

- 瞳AF
- ボタン押しロックオンAF
- ISO AUTO低速限界
- ピクチャープロファイル
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB設定
- ピクチャーエフェクト
- クリエイティブスタイル

URL :

<http://rd1.sony.net/help/dsc/1710/ja/>



やりたいことから探す

カメラまかせできれいに撮りたい

i⁺(プレミアムおまかせオート)で撮る 33, 38

動画を撮りたい

おまかせオートで動画を撮る 54

スーパースローモーション撮影をする 60

動画の記録方式と画質を設定する 55

好みの設定で動画を撮る 57

水中できれいに撮りたい

水中で撮る 50

薄暗い場所でもブレずに撮りたい

i⁺(プレミアムおまかせオート)で撮る 33, 38

ISO感度を上げる 46

セルフタイマーを使って手ブレを抑える 49

動いている被写体を静止画で撮りたい

連続撮影で複数枚撮る 47

逆光でもきれいに撮りたい

i⁺(プレミアムおまかせオート)で撮る 33, 38

好みの設定で思いどおりに撮りたい

| | |
|---|--------|
| 多彩な機能を設定できる撮影モードにする (撮影モードP/M) | 34, 39 |
| ピントを手動で好みの位置に合わせる | 41 |
| モニターの表示内容を切り換える | 35 |
| 気にいった設定をカメラに覚えさせる (MR) | 51 |
| Fn(ファンクション) ボタンで 好みの設定にする | 30, 51 |
| 画像の横縦比、画像サイズ、画質を変えて撮る | 36, 87 |
| カスタムキーの設定機能を変える | 52 |
| 好みの画像の仕上がりで撮る (クリエイティブスタイル) | 43 |

日付を設定したい/撮影日や著作権情報を入れたい

| | |
|--------------------|--------|
| 日付を設定する/変更する | 27, 96 |
| 静止画に撮影日を挿入する | 70 |
| 著作権情報を設定する | 96 |

パソコンに画像を取り込んで活用したい

| | |
|----------------------------------|----|
| PlayMemories Homeをインストールする | 72 |
| 動画からディスクを作成する | 72 |

Wi-Fi/Bluetooth機能を使いたい

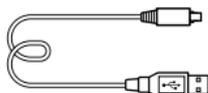
| | |
|----------------------------|----|
| Wi-Fi/Bluetooth機能を使う | 73 |
|----------------------------|----|

本体と付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

()内の数字は個数です。

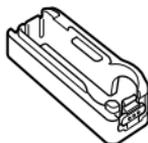
- カメラ (1)
- リチャージャブルバッテリーパックNP-BJ1 (1)
- マイクロUSBケーブル (1)



- ACアダプター (1)
- リストストラップ (1)



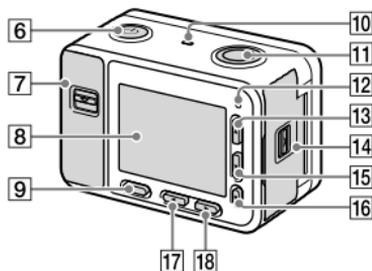
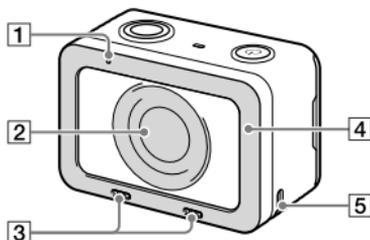
- メモリーカードプロテクター(1)



- 取扱説明書(本書) (1)
- 保証書 (1)

各部の名前を確認する

()内の数字は参照ページです。



1 録画ランプ(70)

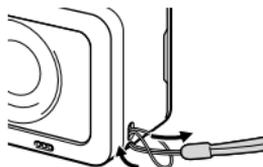
2 レンズ

3 内蔵マイク*¹

4 レンズプロテクター*²

5 ストラップ取り付け部

本機を手で持って撮影するときには、落下防止のため、リストストラップを取り付けて手を通してご使用ください。



*¹ 動画撮影時は手でふさがないようにしてください。ノイズや音量低下の原因になります。

*² 別売りのアクセサリに交換することができます。

6 電源ボタン(27)

7 メモリーカード/端子カバー(20)

8 モニター(35)

9 MENUボタン(31)

10 スピーカー

11 SHUTTER/MOVIEボタン(32)

12 録画ランプ(70)

13 上ボタン/DISP(画面表示切換)ボタン(29)

14 バッテリーカバー(20)

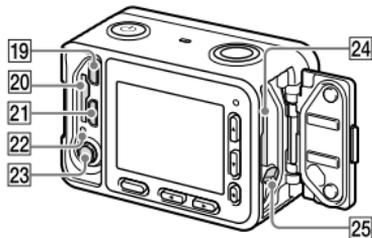
15 下ボタン/再生ボタン(29)

16 ●(決定)ボタン/カスタムキー(29)

17 左ボタン/カスタムキー(29)

18 右ボタン/Fn(ファンクション)ボタン(29)

カバーが開いているとき



- 19 HDMIマイクロ端子 (66)
- 20 メモリーカード挿入口 (20)
- 21 マルチ/マイクロUSB端子*³
(23)
- 22 アクセスランプ/充電ランプ (21、
23)
- 23  マイク端子

外部マイクを接続すると自動的に内蔵マイクから外部マイクに切り替わります。プラグインパワー対応の外部マイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

- 24 バッテリー挿入口 (20)
- 25 バッテリーロックレバー
(20)

*³ マルチ/マイクロUSB端子対応アクセサリーについて詳しくは、専用サポートサイトでご確認ください。
<http://www.sony.jp/support/cyber-shot/>



26 三脚用ネジ穴

対応する三脚のネジの長さは5.5mm以下になります。

メモリーカード/端子カバーを 取りはずして使う

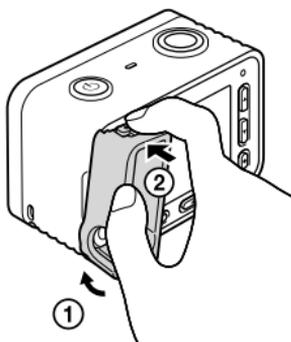
メモリーカード/端子カバーを取りはずして、HDMIケーブルやマイクロUSBケーブル、または外部マイクを接続したまま本機を使用することができます。



メモリーカード/端子カバーを再度取り付けるときは、本体にはめこんでください。

メモリーカードプロテクターにつ いて

HDMIケーブルやマイクロUSBケーブル、または外部マイクを接続したまま本機を使用する場合は、メモリーカードプロテクターを取り付けてください。振動や衝撃などでメモリーカードが抜けることによるアクセスエラーを防止します。

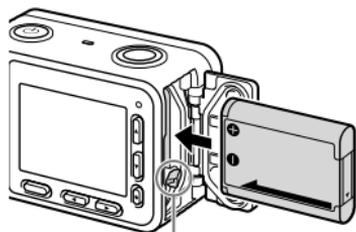


メモリーカードプロテクターを取りはずすには、メモリーカードプロテクター上部と下部のつまみを押しながら引き抜いてください。

バッテリーとメモリーカード(別売)を入れる

1 バッテリーカバーを開けてバッテリーを入れる。

- バッテリーの向きを確認し、バッテリーロックレバーを押しながら入れます。

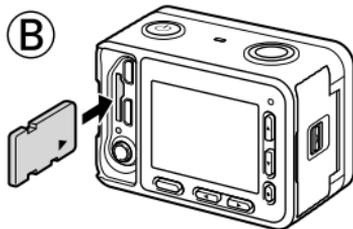
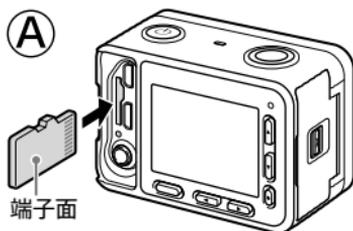


バッテリーロックレバー

2 バッテリーカバーを閉じる。

3 メモリーカード/端子カバーを開けてメモリーカード(別売)を入れる。

- microSDカード/microSDHCカード/microSDXCカード：イラストの①の向きに入れてください。
- メモリースティックマイクロ：イラストの②の向きに入れてください。
- 本機で使用できるメモリーカードについては、102ページをご覧ください。



4 メモリーカード/端子カバーを閉じる。

ご注意

- バッテリーカバーやメモリーカード/端子カバーを閉じるときは、カバーのつまみの黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じてください。また、カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき浸水の原因になります(7ページ)。

メモリーカードをフォーマットする

メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマット(初期化)することをおすすめします。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報M1~M4(51ページ)も含めて、すべてのデータが削除され、元に戻せません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- フォーマットするには、MENUボタン →  (セットアップ) → [フォーマット]を選びます。

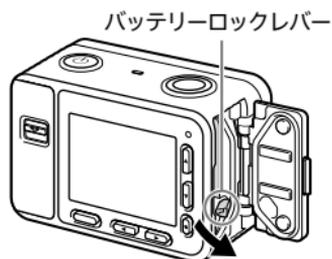
メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。



バッテリーを取り出す

カメラの電源が切れていることを確認してからバッテリーロックレバーをずらす。バッテリーが押し出されるので、落下しないように注意する。



ご注意

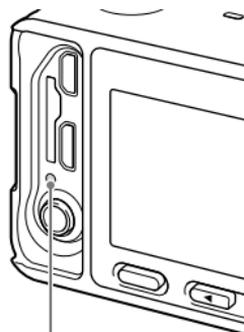
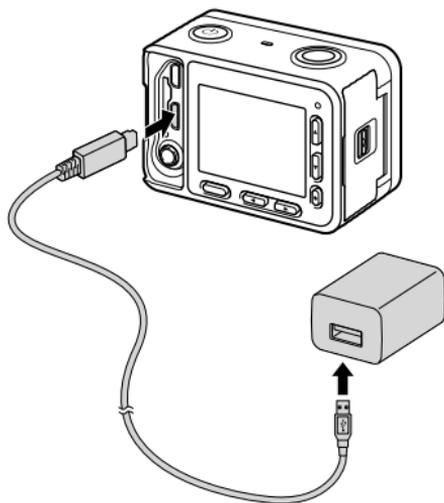
- アクセスランプ点灯中は、メモリーカードやバッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

バッテリー充電と使用可能枚数・時間

初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。
充電したバッテリーは、使わなくても少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前に充電してください。

1 バッテリーを入れた本機とACアダプター(付属)を マイクロUSBケーブル(付属)でつなぎ、ACアダプターをコンセントに差し込む。

- 充電は本機の電源を切った状態で行ってください。



充電ランプ
点灯(オレンジ色)：充電中
消灯：充電終了
点滅(オレンジ色)：
充電エラー、または温度が
適切な範囲にないための充
電一時待機

充電時間の目安(満充電)

約135分で充電できます。充電ランプが点灯後すぐに消える場合は満充電です。

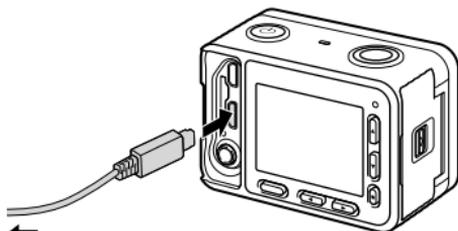
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- バッテリー(付属)を使い切ってから、温度25℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長かかります。

ご注意

- 充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は、一度バッテリーを取りはずし、再度装着してください。
- バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～30℃の環境で行ってください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、付属のマイクロUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。
本機の電源を切った状態でつないでください。



←
パソコンのUSB端子へ

ご注意

- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間放置しないでください。
- 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
- すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。自作のパソコンや改造したパソコン、ハブ経由での充電は保証できません。また同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。

バッテリーの使用時間と撮影可能枚数

| | 使用時間 | 枚数 |
|--------|------|-------|
| 静止画撮影 | — | 約240枚 |
| 実動画撮影 | 約35分 | — |
| 連続動画撮影 | 約60分 | — |

ご注意

- 使用時間や撮影枚数は満充電された状態での目安です。使用方法によって時間や枚数は減少する場合があります。
- 使用時間や撮影可能枚数は、以下の条件にて撮影した場合です。
 - 温度が25℃
 - 当社製のmicroSDXC メモリーカード (別売) を使用
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。(CIPA: カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
 - 30秒ごとに1回撮影
 - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
 - 記録設定 : XAVC S HD 60p 50M
 - [自動電源OFF温度] : [高]
(温度上昇による制限については、105ページをご覧ください。)
 - 実動画撮影 : 撮影、撮影スタンバイ、電源入/切を繰り返す。

外部電源で本機を使う

1 マイクロUSBケーブル(付属)とACアダプター(付属)で、本機とコンセントをつなぐ。

ご注意

- 外部電源で本機を使用して撮影/再生をする場合は、充電したバッテリーを本機に入れてください。
- 外部電源で本機を使用する場合は、USB給電中を表すアイコン(🔌/🔌🔌🔌🔌🔌)がモニターに表示されていることをご確認のうえ、本機をご使用ください。
- アクセスランプ(18ページ)が点灯しているときはバッテリーやマイクロUSBケーブルを取りはずさないでください。メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。
- 電源を入れて使用している間は、ACアダプターと接続していてもバッテリーへの充電はされません。
- USB給電中は、本体内の温度上昇により連続動画撮影時間が短くなることがあります。
- 外部電源としてモバイルチャージャーをご使用する際には、満充電であることを確認してからお使いください。またご使用中はモバイルチャージャーの残量にご注意ください。

日付と時刻を設定する

1 電源ボタンを押す。

電源が入る。

電源ボタン



2 [エリア/日付/時刻を設定してください]

と表示されるので、[実行]を選んで

●(決定)ボタンを押す。



●(決定)ボタン

3 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、●(決定)ボタンを押す。

4 上/下ボタンを押して設定する項目を選び、●(決定)ボタンを押す。



上/下ボタン

5 上/下/左/右ボタンを押して希望の設定を選び、●(決定)ボタンを押す。

[日時]を設定する場合、真夜中は
12:00AM、正午は12:00PMとなる。



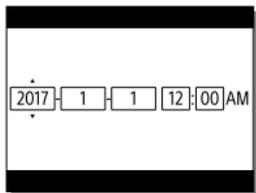
左/右ボタン

6 手順4、5を繰り返して、すべて設定し、[実行]を選んで●(決定)ボタンを押す。

日付と時刻を確認する/合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、 (セットアップ) → [日時設定] を選び、日時設定画面を開いてください。

- 1 MENUボタンを押して、
 (セットアップ) → [日時設定]
→ [日時] を選び、日時設定画面を開く。



- 2 左/右ボタンを押して、合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選ぶ。



左/右ボタン

- 3 上/下ボタンを押して、各項目を設定する。



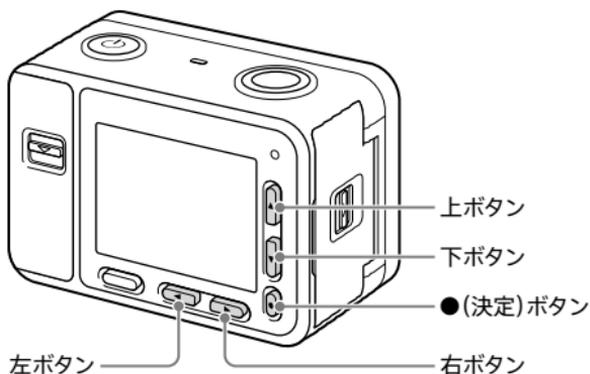
上/下ボタン

- 4 現在の日時に設定し終わったら、
●(決定)ボタンを押す。



●(決定)ボタン

上下左右ボタン/●(決定)ボタンの 使いかた



上下左右ボタンを押すと、選択枠を動かすことができます。
選んだ項目は●(決定)ボタンを押すと決定されます。

- 上ボタンにはDISP(画面表示切替)が割り当てられています。
DISPボタンを押すたびに表示内容が切り換わります。
- 撮影時の下ボタンには▶(再生)が割り当てられています。
▶(再生)ボタンを押すと、撮影モードから再生モードに切り替わりま
す。
- 撮影時の右ボタンにはFn(ファンクション)が割り当てられています。
- 撮影時の左ボタンと●(決定)ボタンにはお好みの機能を割り当てるこ
とができます(52ページ)。
- 再生時に左/右ボタンを押すことで、前/次の画像を表示することがで
きます。

Fn(ファンクション)ボタンで選ぶ

Fn(ファンクション)ボタンにはよく使う機能を12個まで登録しておくことができ、撮影時に各機能の設定を変更できます。

1 撮影画面でFn(ファンクション)ボタンを押す。



Fn(ファンクション)ボタン

2 上/下/左/右ボタンで設定する機能を選び、●(決定)ボタンを押す。

- 登録できる機能の一覧と登録方法は51ページをご覧ください。



上/下ボタン
●(決定)ボタン
左/右ボタン

3 操作ガイドに従って設定値を選択し、●(決定)ボタンを押す。



操作ガイド

MENUボタンで選ぶ

撮影、再生、操作方法などカメラ全体に関する設定の変更や、機能の実行を行えます。

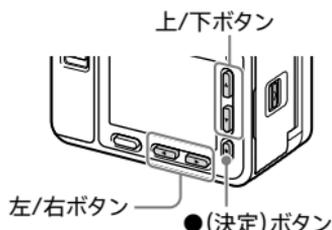
設定項目の一覧は87ページをご確認ください。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。



MENUボタン

2 上/下/左/右ボタンで設定したい項目を選び、●(決定)ボタンを押す。



基本操作を確認する



画面上部のアイコンを選んで左/右ボタンを押すと、他のMENUへ移動できます。



MENUボタンを押すと一つ前の画面へ戻ります。

3 設定値を選択して、●(決定)ボタンを押して決定する。

静止画を撮る：自動で最適な設定で撮る(オート撮影)

- 1 MENUボタン → 1 (撮影設定1)
→ [撮影モード] →
[おまかせオート]を選ぶ。



MENUボタン

- 2 SHUTTER/MOVIEボタンを半押しして、ピントを合わせる。

ピントが合うと「ピピッ」という音がしてフォーカス表示(●)が点灯する。

- 自動でピントを合わせられない場合は、フォーカス表示が点滅します。
- ピントが合う最短の撮影距離(レンズ先端から被写体まで)は約50 cmです。

SHUTTER/MOVIEボタン



- 3 SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込む。

- 撮影直後に、撮影した画像が表示されます。再生時のDISP設定で表示されます(35ページ)。SHUTTER/MOVIEボタンを半押しすると画像の表示を解除できます。

状況を自動判別して撮る(おまかせオート/ プレミアムおまかせオート)

i📷(おまかせオート)またはi📷+(プレミアムおまかせオート)で撮影すると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。動画撮影中もシーンを認識します。

1 被写体にカメラを向ける。

シーン認識マークがモニターに表示される。

👤(人物)、👶(赤ちゃん)、🌃(夜景&人物)、
🌙(夜景)、🌆(逆光&人物)、🌄(逆光)、
🏞️(風景)、📷(スポットライト)、🌑(低照度)



シーン認識マーク

2 SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを合わせてから、 SHUTTER/MOVIEボタンを深く押し込んで撮影する。

モードを切り換えるには

メニューからオート撮影の方法を選べます。

MENUボタン → 📷1(撮影設定1) → [撮影モード] → 希望の設定を選ぶ。

オート撮影の特徴

| 撮影モード | こんなときに使う |
|--|--|
|  (おまかせオート) | カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき |
|  (プレミアムおまかせオート) | カメラまかせでシーン認識をして撮影したいとき、特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影したいとき <ul style="list-style-type: none">暗いシーンや逆光のシーンでは、複数枚撮影し重ね合わせ処理を行います。これにより記録に時間がかかることがあります。このとき、 (重ね合わせアイコン) が表示され、シャッター音が複数回聞こえる場合がありますが、記録される画像は1枚です。 |
| P (プログラムオート) | ホワイトバランスやISOなど多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき <ul style="list-style-type: none">シャッタースピードはカメラが自動で設定します。 |

ご注意

- ・ [プレミアムおまかせオート] で  (重ね合わせアイコン) が表示されているときは、複数枚の撮影が終わるまでカメラを動かさないようにしてください。
- ・ [おまかせオート]、[プレミアムおまかせオート] の場合、多くの機能が自動設定となり、自分で変更できません (97ページ)。

モニター表示を変える(DISP)

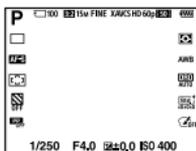
1 DISPボタン → 希望のモードを選ぶ。



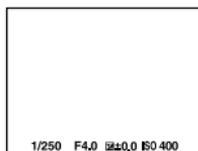
DISPボタン

撮影時

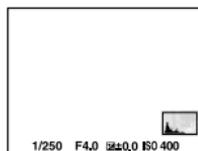
全情報表示



情報表示なし



ヒストグラム

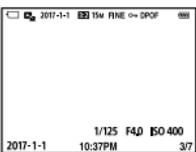


- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

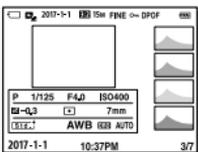
ヒストグラム：画像の明暗をグラフ(ヒストグラム)で表示。

再生時

情報表示あり



ヒストグラム



情報表示なし



- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

情報表示あり：撮影時の情報を表示する。

ヒストグラム：撮影時の情報とヒストグラムを表示する。

情報表示なし：撮影時の情報を表示しない。

- 画像に白とびまたは黒つぶれの箇所がある場合、ヒストグラム画面の画像の該当箇所が点滅します。(白とび黒つぶれ警告)
- 再生時の設定は、オートレビューでも反映されます。

静止画のサイズを選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。

画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできますが、ファイルサイズが大きくなります。画像サイズを小さくすると、ファイルサイズも小さくなりたくさん撮影できます。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [画像サイズ] → 希望の設定を選ぶ。

- 横縦の比率は、MENUボタン →  (撮影設定) → [横縦比] で選びます。

| 画像サイズ ([ 横縦比] が [3:2] のとき) | |
|--|---------------|
| L:15M | 4800 × 3200画素 |
| M:7.7M | 3408 × 2272画素 |
| S:3.8M | 2400 × 1600画素 |

| 画像サイズ ([ 横縦比] が [4:3] のとき) | |
|--|---------------|
| L:14M | 4272 × 3200画素 |
| M:6.9M | 3024 × 2272画素 |
| S:3.4M | 2128 × 1600画素 |
| VGA | 640 × 480画素 |

| 画像サイズ ([ 横縦比] が [16:9] のとき) | |
|---|---------------|
| L:13M | 4800 × 2704画素 |
| M:6.5M | 3408 × 1920画素 |
| S:3.2M | 2400 × 1352画素 |

| 画像サイズ ([ 横縦比] が [1:1] のとき) | |
|--|---------------|
| L:10M | 3200 × 3200画素 |
| M:5.2M | 2272 × 2272画素 |
| S:2.6M | 1600 × 1600画素 |

ご注意

- [画質] が [RAW]、[RAW+JPEG] のとき、RAW画像の画像サイズはL相当となります。
- [16:9] で撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

画質を選ぶ(RAW/JPEG)

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [画質] → 希望の設定を選ぶ。

RAW：デジタル処理などの加工をしていないファイル形式。専門的な用途に
合わせて、パソコンで加工するときに選ぶ。

- パソコンでの加工にはImage Data Converterを使用してください(71ページ)。

RAW+JPEG：RAW画像とJPEG画像が同時に記録される。閲覧用にはJPEG
画像、編集用にはRAW画像というように、両方の画像を記録したい場合に
適している。JPEGの画質は[ファイン]になる。

エクストラファイン / ファイン / スタンダード：画像がJPEG形式で圧縮されて
記録される。[エクストラファイン]、[ファイン]、[スタンダード]の順で圧縮
率が大きくなり、1枚のメモリーカードに記録できる枚数は増えるが、画質は
劣化する。

ご注意

- [RAW]または[RAW+JPEG]のとき、以下の機能は使用できません。
 - [オートHDR]
 - [ピクチャーエフェクト]
 - 日書き込み
 - [マルチショットNR]
- [RAW]のとき、以下の機能は使用できません。また、[RAW+JPEG]のとき、RAW画像には以下の機能は働きません。
 - 高感度NR
- [RAW]または[RAW+JPEG]の場合はデータ量が多いため、1枚のメモリーカードに記録できる枚数がJPEG形式より少なくなります。

撮影モードを変える

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、撮影モードを設定します。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [撮影モード]を選ぶ。

- お買い上げ時の設定では、左ボタンを押しても撮影モードを変更できません。

本機には、以下の撮影モードがあります。

| | |
|---|--|
|  (おまかせオート) | カメラまかせでシーン認識をして撮影する。 |
|  ⁺ (プレミアムおまかせオート) | カメラまかせでシーン認識をして撮影する。特に暗いシーンや逆光のシーンをよりきれいに撮影できる。 |
| P (プログラムオート) (34) | 露出(シャッタースピード)は自動設定される。Fn(ファンクション)やMENUで多彩な機能を設定できる。 |
| M (マニュアル露出) (39) | シャッタースピードを手動で設定して撮影する。 |
| MR (登録呼び出し) (51) | あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。 |
|  (おまかせオート) | カメラまかせで動画をオート撮影する。 |
|  P (プログラムオート) | 本機が自動設定した露出(シャッタースピード)で動画を撮影する。Fn(ファンクション)やMENUで多彩な機能を設定できる。 |
|  M (マニュアル露出) (57) | シャッタースピードを手動で設定して動画を撮影する。 |
| HFR (ハイフレームレート) (60) | 記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することで、なめらかなスーパースロー映像を記録できる。 |

シャッタースピードを好みの設定にする (マニュアル露出)

シャッタースピードを調節して、好みの露出で撮影します。設定した露出は電源を切っても保持されるため、後で撮影モードを [マニュアル露出] にしたときも同じ露出を再現できます。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [撮影モード] → [マニュアル露出] を選ぶ。

2 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [シャッタースピード] を選ぶ。

3 左/右ボタンで設定値を選び、●(決定)ボタンを押す。

- 設定した露出と本機が判断した適正露出の差がモニター上の  (メータードマニュアル) で確認できます。

4 SHUTTER/MOVIEボタンを押す。

ご注意

- 本機の絞り値はF4.0固定です。
- 設定後にメータードマニュアルの測光範囲を超えている場合は、メータードマニュアルの値が点滅します。
- [ISO感度] を [ISO AUTO] に設定したときは、設定したシャッタースピードで適正露出になるようにISO感度が変化します。メータードマニュアルは表示されません。適正露出にならないと本機が判断した場合は、ISO感度が点滅します。

ピントを合わせる

ピント合わせの方法を選ぶ

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [フォーカスモード] → 希望のモードを選ぶ。

AF-S(シングルAF) : SHUTTER/MOVIEボタンを半押しして、自動でピントを合わせる。SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししている間は、ピントが固定される。静止画撮影時のみ選択できます。

MF(マニュアルフォーカス) : ピント合わせを手動で行う。

- 手動でピントを合わせるときは、MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [フォーカス設定]でピントを調整します(41ページ)。

ご注意

- 静止画撮影時は、[プリセットフォーカス](57ページ)は選択できません。

ピントを合わせるエリアを選ぶ(フォーカスエリア)

ピント合わせの位置を変更します。ピントが合いにくいときなどに使用してください。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [フォーカスエリア] → 希望の設定を選ぶ。

| | |
|---|--|
|  (ワイド) | モニター全体を基準に、自動でピントを合わせる。 |
|  (中央) | 常に中央部のフォーカスエリアでピントを合わせる。 |
|  M (フレキシブルスポット) | モニター上の好きなところにフォーカス枠を移動し、非常に小さな被写体や狭いエリアを狙ってピントを合わせる。 |
|  (拡張フレキシブルスポット) | フレキシブルスポットの周囲のフォーカスエリアをピント合わせの第2優先エリアとして、選んだ1点でピントが合わせられない場合に、この周囲のフォーカスエリアを使ってピントを合わせる。 |

- [フォーカスエリア]が[フレキシブルスポット]または[拡張フレキシブルスポット]のときに、[フォーカススタンダード]を割り当てた●(決定)ボタンを押すと、上/下/左/右ボタンでフォーカス枠の位置を変更しながら撮影できます。上/下/左/右ボタンを使って撮影設定などを変更する場合は、●(決定)ボタンを押してください。
- [ワイド]で被写体にピントが合わない場合は、[中央]にしてピントを合わせたい被写体にフォーカス枠を合わせ、SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントを固定してください。そのまま撮りたい構図に戻して撮影してください(フォーカスロック)。

ご注意

- フォーカス枠の移動中は、上/下/左/右ボタンに割り当てられた機能を実行できません。

ピントを手動で好みの位置に合わせる (マニュアルフォーカス)

1 MENUボタン →  (撮影設定1) → [フォーカスモード] → [マニュアルフォーカス]を選ぶ。

2 MENUボタン →  (撮影設定1) → [フォーカス設定]を選ぶ。

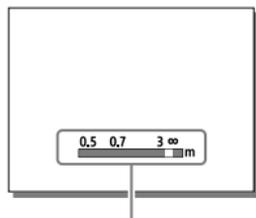
マニュアルフォーカスの画面になる。

- [カスタムキー(撮影)]で●(決定)ボタンに[フォーカススタンダード]が割り当てられているときは、●(決定)ボタンを押すことでもマニュアルフォーカスの画面になります。

3 上/下/左/右ボタンを押してピントを調整する。

上/下ボタンを押すと、フォーカスが
0.5m ↔ 0.7m ↔ 3m ↔ ∞の位置に移動する。
左/右ボタンで、フォーカスを微調整できる。

- ●(決定)ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



ピントを合わせる距離

ご注意

- [フォーカスモード]を選び直すと、手動で設定したフォーカスの距離は解除されます。

撮影のテクニック

- [MFアシスト]を使うと、マニュアルフォーカスのピントの調整時に、画像を自動で拡大表示してピントを合わせやすくします(90ページ)。
- [ピーキングレベル]を使うと、マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります(90ページ)。

AF/MFコントロール

撮影中に、オートフォーカスとマニュアルフォーカスを簡単に切り換えることができます。

- 2(撮影設定2) → [カスタムキー(撮影)]で、●(決定)ボタンにこの機能を割り当てることができます(52ページ)。

好みの画像の仕上がりで撮る (クリエイティブスタイル)

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [撮影モード]を
P (プログラムオート)、M (マニュアル露出)、
P (プログラムオート)、M (マニュアル露出)または
HFR (ハイフレームレート)にする。

2 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [クリエイティブスタイル]
→ 希望のクリエイティブスタイルまたは

Std (スタイルボックス)を選ぶ。

- スタイルボックスを使えば、同じスタイルでも微妙に設定を変えて呼び出すことができます。

Std (スタンダード) : さまざまなシーンを豊かな階調と美しい色彩で表現する。

Vivid (ビビッド) : 彩度とコントラストが高めになる。

Ntrl (ニュートラル) : 彩度・シャープネスが低くなる。

Clear (クリア) : ハイライト部分の抜けがよく、透明感のある雰囲気になる。

Deep (ディープ) : 濃く深みのある色再現にする。

Light (ライト) : 明るく、すっきりとした色再現にする。

Port (ポートレート) : 肌をより柔らかくに再現する。

Land (風景) : 彩度、コントラスト、シャープネスがより高くなり、鮮やかでメリハリのある風景に再現する。

Sunset (夕景) : 夕焼けの赤さを美しく表現する。

Night (夜景) : コントラストがやや低くなり、見た目の印象により近い夜景に再現する。

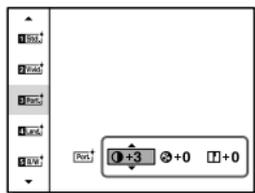
Autumn (紅葉) : 紅葉の赤、黄をより鮮やかに表現する。

B/W (白黒) : 白黒のモノトーンで表現する。

Sepia (セピア) : セピア色のモノトーンで表現する。

3 ①(コントラスト)、②(彩度)、
③(シャープネス)を調整したいと
きは、左/右ボタンで希望の項目を
選び、上/下ボタンで値を選ぶ。

- スタイルボックスのときは希望のクリエイティブスタイルも選べます。



明るさを調整する(露出補正)

通常の撮影設定では、露出が自動的に設定されます(自動露出)。自動露出で設定された露出値を基準に、+側に補正すると、画像全体を明るく、-側に補正すると、画像全体を暗くできます(露出補正)。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [露出補正] を選ぶ。

2 左/右ボタンで希望の補正值を選ぶ。

- + (オーバー)側：画像が明るくなる。
 - (アンダー)側：画像が暗くなる。
-

ご注意

- 撮影モードが以下の場合は、露出補正できません。
 - [おまかせオート]
 - [プレミアムおまかせオート]
 - [マニュアル露出]で[ISO感度]が[ISO AUTO]以外

ISO感度を選ぶ

1 MENUボタン →  1 (撮影設定1) → [撮影モード] を
P (プログラムオート)、M (マニュアル露出)、
 P (プログラムオート)、 M (マニュアル露出) または
HFR (ハイフレームレート) にする。

2 MENUボタン →  1 (撮影設定1) → [ISO感度] → 希望の設
定を選ぶ。

 (マルチショットNR) : 連続撮影により写真を重ね合わせ、ノイズの少ない
画像を撮影する。

右ボタンで設定画面を表示して、上/下ボタンで希望の数値を選ぶ。

 (ISO AUTO) : カメラが明るさに応じた感度を自動で設定する。右ボタン
で設定画面を表示して、ISO AUTO時の上限値、下限値を設定することもで
きる。

ISO 80~ISO 12800 : お好みの感度をマニュアルで設定する。数値が大きい
ほど高感度になる。

ご注意

- ISO 125未満の領域は、記録できる被写体輝度の範囲(ダイナミックレンジ)が
少し狭くなります。
- 静止画撮影時、動画撮影時、またはHFR撮影時で、選べる設定が異なります。
- [マルチショットNR] に設定しているときは、重ね合わせ処理をするため、記録
処理に時間がかかります。
- [ピクチャープロファイル] が [切] 以外のとき、[マルチショットNR] は設定でき
ません。

連続して撮る(連写/ブラケット)

1枚撮影、連続撮影、ブラケット撮影など、撮影の目的に合わせて使用してください。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → 希望のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、左/右ボタンで希望の設定を選びます。

 (1枚撮影) : 通常の撮影方法。

 (連続撮影) : SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、連続して撮影する。

 (速度優先連続撮影) : SHUTTER/MOVIEボタンを押している間、高速で連続撮影する。

BRK C (連続ブラケット) : 露出を段階的にずらして、合計3枚、5枚または9枚の画像を連続して記録する。露出の段数は設定できる。

BRK S (1枚ブラケット) : 露出を段階的にずらして、合計3枚、5枚または9枚の画像を1枚ずつ撮影する。

BRK WB (ホワイトバランスブラケット) : 選択されているホワイトバランス、色温度・カラーフィルターの値を基準に、段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo]または[Hi]からずらす値の幅を選ぶ。

BRK DRO (DROブラケット) : Dレンジオブティマイザーの値を段階的にずらして、合計3枚の画像を記録する。[Lo]または[Hi]からずらす値の幅を選ぶ。

ご注意

- 以下のときは、連続撮影、ブラケット撮影ができません。
 - [ピクチャーエフェクト]が[ソフトフォーカス]、[絵画調HDR]、[リッチトーンモノクロ]、[ミニチュア]、[水彩画調]、[イラスト調]
 - [DRO/オートHDR]が[オートHDR]
 - [ISO感度]が[マルチショットNR]
- 連続撮影は記録処理に時間がかかります。記録処理の間はモニターに「処理中」と表示されます。

ブラケット撮影の設定を変更するには

MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [ブラケット設定] を選ぶと、ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定できます。

セルフタイマーで撮る

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → 希望のモードを選ぶ。

- さらに詳細な設定ができるモードを選んだ場合は、左/右ボタンで希望の設定を選びます。

 (セルフタイマー) : 5秒/10秒セルフタイマーは撮影者も一緒に写真に入るときに、2秒セルフタイマーは撮影の際のカメラブレを和らげるのに使う。SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、「ピッピッピッ」と電子音が鳴り、撮影が開始される。中止するにはもう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押す。

 (セルフタイマー(連続)) : SHUTTER/MOVIEボタンを押してから指定した秒数が経過した後に連続撮影する。3枚または5枚から撮影枚数を選ぶ。

セルフタイマーを解除するには

MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [ドライブモード] → [1枚撮影]を選んでください。

ブラケット撮影時のセルフタイマーの設定をするには

[ドライブモード]でブラケットを選択して、MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [ブラケット設定] → [ブラケット時のセルフタイマー]を選んでください。

水中で撮る

本機は水中でも使用できます。水中は、明るさやホワイトバランスが通常の撮影環境とは異なります。本機や本機とハウジング(別売)を使って水中で撮影を行うときは、以下のように設定して撮影することをおすすめします。

シャッタースピードを速くする

水中は、屋外であっても通常の撮影環境よりも暗くなります。シャッタースピードを速くしてください。

- [撮影モード]が[プログラムオート]のときは、[ISO AUTO低速限界](89ページ)を[より高速]に設定するか、[ISO感度](46ページ)を高くすると、シャッタースピードが速くなります。
- [撮影モード]が[マニュアル露出]のときは、[シャッタースピード]を速い数値に設定してください(39ページ)。

ISO感度が低いと、シャッタースピードが遅くなります。

- シャッタースピードを速くするために、[ISO AUTO]時は[ISO AUTO上限]をより高感度に設定してください(46ページ)。

[ホワイトバランス]の設定を変更する

水中では、通常の撮影環境とホワイトバランスが異なります。

- [ホワイトバランス]を[水中オート]に設定してください(89ページ)。

水中での撮影時の設定について、詳しくはヘルプガイド(13ページ)をご覧ください。

ご注意

- 本書に記載された光学に関する数値は、空気中での値です。水中ではピントが合う最短の撮影距離が約1.3倍に伸び、画角が約3割狭くなります。
- 水中ではワイヤレス機能は使えません。
- 「防水/防じん・耐衝撃性能について」(7ページ)もあわせてご確認ください。

撮影機能を自分好みにカスタマイズする

登録した設定を呼び出して撮影する (MR)

よく使うモードやカメラの設定を本機またはメモリーカードに登録でき、MENUボタン → [撮影モード] → [登録呼び出し]から呼び出せます。

設定を登録する

- ① 登録したい設定にしておく。
 - 撮影に関する様々な設定を登録できます。登録可能な項目は、手順②で確認できます。
 - マニュアルフォーカスの設定は登録できません。
- ② MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [1/2の登録] → 左/右ボタンで希望の番号を選ぶ → ●(決定)ボタンで決定する。
 - 本機に設定を登録する場合は「1」～「3」、メモリーカードに設定を登録する場合は「M1」～「M4」から希望の番号を選んでください。

登録した設定を呼び出す

- ① MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [撮影モード] → [登録呼び出し] → 左/右ボタンで希望の番号を選ぶ → ●(決定)ボタンで決定する。
 - 登録した内容を変更するには、希望する設定にして同じ番号に再登録してください。

Fn(ファンクション)ボタンの設定機能を変える

- 1 MENUボタン → 2 (撮影設定2) → [ファンクションメニュー設定] → [ファンクション上段1] ~ [ファンクション下段6] → 希望の機能を選ぶ。

割り当てられる機能

| 📷画質 | 📷画像サイズ | 📷横縦比 |
|-------------|--------------|--------------------|
| 撮影モード | ドライブモード | ブラケット時のセルフタイマー |
| フォーカスモード | フォーカスエリア | ●ボタン押しロックオンAF |
| PF時のNEARモード | シャッタースピード | 露出補正 |
| ISO感度 | ISO AUTO低速限界 | 測光モード |
| ホワイトバランス | DRO/オートHDR | クリエイティブスタイル |
| ピクチャーエフェクト | ピクチャープロフィール | ピーキングレベル |
| ピーキング色 | 顔検出 | HFR フレームレート |
| 録音レベル | 音声レベル表示 | 📊 マーカー表示 |
| ゼブラ | グリッドライン | ライブビュー表示 |
| 電子音 | ガンマ表示アシスト | 未設定 |

カスタムキーの設定機能を変える

撮影時の機能を希望のボタンに割り当てることができます。

1 MENUボタン → 📷2 (撮影設定2) → [カスタムキー(撮影)] を選ぶ。

2 選択画面で機能を割り当てたいボタンを選び、●(決定)ボタンを押す。

- (決定)ボタンと左ボタンに希望の機能を割り当てられます。



左ボタン ●(決定)ボタン

3 割り当てたい機能を選び、●(決定) ボタンを押す。

- ボタンによって割り当てられる機能が異なります。



動画を撮る：自動で最適な設定で撮る(オート撮影)

- 1 MENUボタン → 1 (撮影設定1)
→ [撮影モード] →
 (おまかせオート)を選ぶ。



MENUボタン

- 2 SHUTTER/MOVIEボタンを押し
て、撮影を開始する。

- 動画撮影時のピント合わせについては、57ページをご覧ください。



SHUTTER/MOVIEボタン

- 3 もう一度SHUTTER/MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

- 記録中は、何も操作せずに約1分経過するとモニターが消灯します(お買い上げ時の設定)。MENUボタン、上/下/左/右ボタン、●(決定)ボタンのいずれかを押すと再度モニターを点灯できます。また、MENUボタン → 2 (撮影設定2) → [記録中モニター消灯]を[切]に設定すると、記録中もモニターは消灯しなくなります(91ページ)。
- 動画記録中には、カメラの動作音や操作音が記録されます。また、動画撮影終了時、SHUTTER/MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります(4ページ)。
- MENUボタン → 2 (撮影設定2) → [音声記録] → [切]にすると、音声を記録しないようにできます(91ページ)。

動画撮影時の設定を変える

動画の記録方式/画質を選ぶ

- 1 MENUボタン → 2 (撮影設定2)
→ [] 記録方式 → 希望の設定
を選ぶ。



MENUボタン

| 記録方式 | 特徴 | |
|-----------|---|--|
| XAVC S HD | AVCHDと比べると情報量が多くなるため、より鮮明な画像を記録できます。このフォーマットで記録できるメモリーカードについては、102ページをご覧ください。 | ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存できます。 |
| AVCHD | パソコン以外の保存機器との互換性に優れています。 | ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存または対応 メディアを作成できます。 |
| MP4 | スマートフォンでの再生やネットワークへのアップロード、Web公開が簡単に行えます。 | ソフトウェア PlayMemories Homeで パソコンに保存できます。 |

動画
を撮
る

- 2 MENUボタン → 2 (撮影設定2) → [] 記録設定 → 希望
の設定を選ぶ。

- ビットレートが高いほど高画質で撮影できます。
- 各記録設定時の最大記録時間の目安は104ページをご覧ください。

[**4K**記録方式]が[XAVC S HD]のとき

| 記録設定 | ビットレート | 説明 |
|----------|----------|--|
| 60p 50M | 約50 Mbps | 1920×1080 (60p)で撮影する。 |
| 30p 50M | 約50 Mbps | 1920×1080 (30p)で撮影する。 |
| 24p 50M | 約50 Mbps | 1920×1080 (24p)で撮影する。 |
| 120p 50M | 約50 Mbps | 1280×720 (120p)のハイスピード記録を行う。120 fpsの動画を記録できる。 <ul style="list-style-type: none"> • 対応する編集機器を使って、よりなめらかなスローモーション映像を作ることができます。 |

[**4K**記録方式]が[AVCHD]のとき

| 記録設定 | ビットレート | 説明 |
|-------------|------------|--|
| 60i 24M(FX) | 最大24 Mbps | 1920×1080 (60i)で撮影する。 |
| 60i 17M(FH) | 平均約17 Mbps | 1920×1080 (60i)で撮影する。 |
| 60p 28M(PS) | 最大28 Mbps | 1920×1080 (60p)で撮影する。 <ul style="list-style-type: none"> • 撮影した動画を扱うには対応機器が必要です。 |
| 24p 24M(FX) | 最大24 Mbps | 1920×1080 (24p)で撮影する。 |
| 24p 17M(FH) | 平均約17 Mbps | 1920×1080 (24p)で撮影する。 |

[**4K**記録方式]が[MP4]のとき

| 記録設定 | ビットレート | 説明 |
|-------------------|------------|---------------------------------|
| 1920×1080 60p 28M | 平均約28 Mbps | 1920×1080 (60p)で撮影する。 |
| 1920×1080 30p 16M | 平均約16 Mbps | 1920×1080 (30p)で撮影する。 |
| 1280×720 30p 6M | 平均約6 Mbps | 1280×720 (30p)の小さいファイルサイズで撮影する。 |

ご注意

- [⏏記録設定]を[60p 28M(PS)]または[60i 24M(FX)]、[24p 24M(FX)]にして撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください。
- HFR(ハイフレームレート)撮影時の記録設定は、60ページをご覧ください。

シャッタースピードを設定して動画を撮る(マニュアル露出)

シャッタースピードを設定して、好みの露出で撮影します。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [撮影モード] → [⏏マニュアル露出] を選ぶ。

2 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [シャッタースピード] → 希望の設定値を選ぶ。

3 SHUTTER/MOVIEボタンを押して撮影する。

動画
を
撮
る

ピント合わせの方法を選ぶ (プリセットフォーカス/マニュアルフォーカス)

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [フォーカスモード] → 希望の設定を選ぶ。

PF(プリセットフォーカス)：広い範囲で良好な解像度が得られるピント位置で固定される。細かなフォーカス操作をせずに動画を撮影できます。被写体までの距離が近い場合は、NEARモード(58ページ)を使います。

MF(マニュアルフォーカス)：ピント合わせを手動で行う。4K映像出力時(64ページ)などに使用する。外部モニターで被写体を見ながらより細かくピント合わせができます。
詳しくは、41ページをご覧ください。

ご注意

- 動画撮影時は、[シングルAF]は選択できません。

プリセットフォーカスのNEARモード設定を切り換えるには

- ① MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [PF時のNEARモード] → 希望の設定を選ぶ。

切：カメラからの距離が約1m以上の被写体を撮るときに使う。一般的な撮影に適している。

入：カメラからの距離が約50cmから1mの被写体を撮るときに使う。近くのものの撮影に適している。

- [カスタムキー(撮影)]で●(決定)ボタンに[フォーカススタンダード]が割り当てられているときは、●(決定)ボタンを押すことでも[入]と[切]を切り換えることができます。

あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロフィール)

撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できます。
設定などの詳細はヘルプガイド(13ページ)をご覧ください。

ピクチャープロフィールの内容を変更する

[ガンマ]や[ディテール]などを調節して好みの画質設定を作れます。
設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

- 1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [ピクチャープロフィール] → 変更したいプロフィールを選ぶ。

- 2 右ボタンを押して、項目一覧に移動する。



右ボタン

3 上/下ボタンで、変更したい項目を選ぶ。



上/下ボタン

4 上/下ボタンで希望の設定値を選び、●(決定)ボタンを押す。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロフィール番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。

MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [ピクチャープロフィール] → [リセット] を選ぶ。

撮影のテクニック

- 本機はS-Logで撮影することができます。また、[ガンマ表示アシスト]を使うことで、通常のガンマと同等のコントラストでS-Log画像をモニターに表示できます。詳しくはヘルプガイド(13ページ)をご覧ください。

スーパースローモーション撮影をする (ハイフレームレート撮影)

記録フォーマットより高いフレームレートで撮影することによって、なめらかなスーパースローモーション映像を記録できます。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1)

→ [撮影モード] →

[ハイフレームレート]を選び、希望の露出モードを選ぶ。

撮影設定画面が表示される。



2 MENUボタン → 2 (撮影設定2) →

[**HFR**ハイフレームレート設定]を選び、[**HFR**記録設定]、[**HFR**フレームレート]、[**HFR**優先設定]、[**HFR**録画タイミング]を希望の設定にする。

HFR記録設定：記録する動画のフレームレートを[60p 50M]、[30p 50M]、[24p 50M]から選ぶ。

HFRフレームレート：撮影時のフレームレートを[240fps]、[480fps]、[960fps]から選ぶ。

HFR優先設定：画質を優先する[画質優先]か、撮影時間が長くなる[撮影時間優先]かを選ぶ。

HFR録画タイミング：SHUTTER/MOVIEボタンを押してからある一定の時間を記録するか([スタートトリガー])、または、SHUTTER/MOVIEボタンを押すまでのある一定の時間を記録するか([エンドトリガー])を選ぶ。

3 被写体にカメラを向け、ピントなどを合わせる。

- フォーカスモード、ISO感度など、そのほかの撮影設定も変更することができます。

4 ●(決定)ボタンを押す。

撮影スタンバイ画面が表示される。

- 撮影スタンバイ中は、画面の左下に[STBY]が表示されます。[STBY]が表示されている間は、露出の調整、マニュアルフォーカスを含むフォーカス設定はできません。変更したい場合は、もう一度●(決定)ボタンを押して撮影設定画面に戻ってください。



●(決定)ボタン



STBY

5 SHUTTER/MOVIEボタンを押す。

[HFR録画タイミング]が**[スタートトリガー]**のとき：

取り込み(撮影)がスタートする。再度SHUTTER/MOVIEボタンを押すか、録画可能時間を過ぎたときに取り込みが終了し、メモ리카ードへ記録される。

[HFR録画タイミング]が**[エンドトリガー]**のとき：

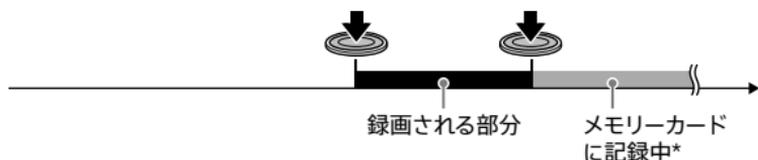
取り込みが終了し、メモ리카ードへ記録される。

録画のタイミングについて

[**HR**録画タイミング]の設定により、SHUTTER/MOVIEボタンを押すタイミングと録画される動画の時間の関係は以下のようになります。

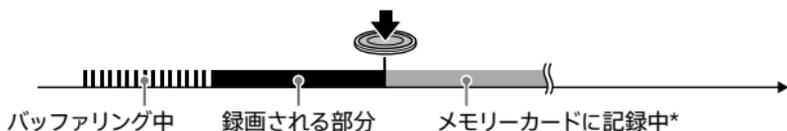
スタートトリガー

SHUTTER/MOVIEボタンを押したタイミングで取り込み(撮影)を開始します。SHUTTER/MOVIEボタンをもう一度押すか最大録画可能時間が経過すると、取り込みが終了しメモリーカードへの記録が開始されます。



エンドトリガー

撮影スタンバイ画面になった時点からバッファリング(動画を一時的にカメラ内部に撮りためておくこと)を開始します。撮影データがバッファリング容量いっぱいになると、古いデータから順に上書きされます。SHUTTER/MOVIEボタンを押すと、その時点から遡って最大録画可能時間分の動画がメモリーカードに記録されます。



* メモリーカードに記録中は、次の撮影は行えません。

撮影をやり直したいときは

記録中の画面で[キャンセル]を選ぶと、記録を中止できます。ただし、中止したところまでの動画は保存されます。

再生速度について

[HFRフレームレート]と[HFR記録設定]の設定によって、再生速度は以下のようになります。

| HFRフレームレート | HFR記録設定 | | |
|------------|---------|---------|---------|
| | 24p 50M | 30p 50M | 60p 50M |
| 240fps | 10倍スロー | 8倍スロー | 4倍スロー |
| 480fps | 20倍スロー | 16倍スロー | 8倍スロー |
| 960fps | 40倍スロー | 32倍スロー | 16倍スロー |

[HFR優先設定]と撮影時間について

| HFR優先設定 | HFRフレームレート | イメージセンサー 読み出し有効画素数 | 撮影時間 |
|---------|------------|-----------------------|------|
| 画質優先 | 240fps | 1676×942 | 約2秒 |
| | 480fps | 1676×566 | |
| | 960fps | 1136×384 | |
| 撮影時間優先 | 240fps | 1676×566 | 約4秒 |
| | 480fps | 1136×384 | |
| | 960fps | 800×270 | |

再生時間について

例えば、[HFR記録設定]を[24p 50M]、[HFRフレームレート]を[960fps]、[HFR優先設定]を[撮影時間優先]に設定し、約4秒間撮影した場合、再生速度は40倍スローとなることから、再生時間は約160秒(約2分40秒)になります。

ご注意

- 音声は記録されません。
- 記録される動画はXAVC S HDフォーマットになります。使用できるメモリーカードは、「使用できるメモリーカード」(102ページ)のXAVC Sの欄をご覧ください。
- SHUTTER/MOVIEボタンを押してから記録が終わるまでに時間がかかる場合があります。撮影スタンバイ画面に切り替わるまで待って、次の撮影を行ってください。

4K動画をHDMI出力する

■ HDMI 4K映像出力

本機を4K対応のレコーダーなどと接続するときのHDMI出力を設定します。

お買い上げ時の設定は[切]になっています。

1 MENUボタン → 1 (撮影設定1) → [撮影モード] → 希望の動画モードを選ぶ。

2 本機と接続したい機器をHDMIケーブル(別売)で接続する。

3 MENUボタン →  (セットアップ) → [■ HDMI 4K映像出力] → 希望の設定を選ぶ。

切：4K映像を出力しない。

30p：30pで出力する。

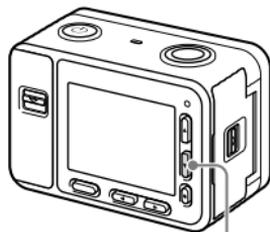
24p：24pで出力する。

ご注意

- 4K映像を本機のメモリーカードに記録することはできません。
- 4K映像を出力しているときは、メモリーカードへの動画記録はできません。
- 4K映像を出力しているときは、本機のモニターにライブビュー映像は表示されず、アイコンのみ表示されます。
- 4K対応機器に接続中のみメニューが有効となります。
- 動画撮影モードのときのみ使えます。

静止画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。



▶(再生)ボタン

2 左/右ボタンで画像を選ぶ。

- 拡大するには、MENUボタン → ▶(再生) → [⊕拡大]を選んでください。
- 1枚再生画面では、●(決定)ボタンを押すことでも拡大できます。
- 画像はピントが合った位置を中心に拡大されます。ピントの位置情報が得られない場合、画像の中心が拡大されます。
- MENUボタン → ▶(再生) → [⊕拡大の初期位置]で、拡大初期位置を変更できます。



左/右ボタン

見る

撮影に戻るには

MENUボタン → ▶(再生) → [撮影/再生切換]で撮影モードに戻る。

- SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししても撮影モードに戻ります。

ご注意

- 連続撮影後に画像をすぐに再生すると、モニターにデータ書き込み中/書き込み残り枚数を示すアイコン(99ページ)が表示されることがあります。書き込み中は、一部の機能を使用できません。

動画を見る

1  (再生) ボタンを押して再生モードにする。

2 左/右ボタンで再生したい動画を選び、●(決定) ボタンを押す。

動画の再生が始まる。

- もう一度●(決定) ボタンを押すと、一時停止します。再生中に左/右ボタンを押すと早戻し、早送りができます。下ボタンを押すと、操作パネルが表示されます。

| 操作パネル | できること |
|--|--------|
|  | 再生 |
|  | 一時停止 |
|  | 早送り |
|  | 早戻し |
|  | スロー再生 |
|  | スロー逆再生 |

| 操作パネル | できること |
|---|-----------|
|  | 次の動画 |
|  | 前の動画 |
|  | コマ送り |
|  | コマ戻し |
|  | 音量設定 |
|  | 操作パネルを閉じる |

テレビで再生するには

HDMIケーブル(別売)で本機とテレビを接続する。

撮影に戻るには

MENUボタン →  (再生) → [撮影/再生切換] で撮影モードに戻る。

- SHUTTER/MOVIE ボタンを半押ししても撮影モードに戻ります。

素早く探す(一覧表示)

1  (再生) ボタンを押して再生モードにする。

2 MENUボタン →  (再生) → [一覧表示] → 希望の表示枚数を選ぶ。

3 上/下/左/右ボタンで画像を選ぶ。

- (決定) ボタンを押すと、1枚再生に戻ります。

希望の画像を素早く表示するには

左側のバーを選び、上/下ボタンでページを送ることができます。

また、左側のバーを選んで● (決定) ボタンを押すと、カレンダー画面またはフォルダ選択画面になり、日付またはフォルダを選べます。アイコンを選んでビューモードを切り換えることもできます(94ページ)。



見る

削除する

1  (再生) ボタンを押して再生モードにする。

2 MENUボタン →  (再生) → [削除] を選ぶ。

3 [画像選択] で削除したい画像を選び、● (決定) ボタンを押す。

すべての画像を削除する (フォーマット)

フォーマットすると、プロテクトしてある画像や登録情報 (M1～M4) も含めて、すべてのデータが削除され、元に戻せません。

MENUボタン →  (セットアップ) → [フォーマット] → [実行] を選ぶ。

その他の再生機能を使う

本機はこの他にも多くの再生機能を搭載しています。Wi-FiやHDMIケーブルを使ったテレビでの再生方法、撮った画像のプリント方法、連続再生 (スライドショー) などの詳細は、ヘルプガイド (13ページ) で確認できます。

カメラを上下反転して撮る

画像の上下を反転して記録します。本機を上下逆さに取り付けたときに便利です。

1 MENUボタン → (セットアップ) → [上下反転] → 希望の設定を選ぶ。

入：画像を上下反転して記録する。記録される音声も左右反転する。

切：画像を上下反転しない。通常通りに画像と音声を記録する。

ご注意

- [上下反転]を[入]にすると、本機の上/下ボタン、左/右ボタンの役割が逆転します。

例：通常は上ボタンにDISP(画面表示切換)機能が割り当てられていますが、[上下反転]を[入]にすると、下ボタンにDISP機能が移動します。

電子音の設定を変える

本機の電子音が鳴るかどうかを設定します。

1 MENUボタン → 2 (撮影設定2) → [電子音] → 希望の設定を選ぶ。

入：SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししてピントが合ったときなどに、操作音が鳴る。

シャッター：SHUTTER/MOVIEボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

切：操作音/シャッター音は鳴らない。

録画ランプの設定を変える

録画時、被写体に録画ランプの光が映りこむことを防ぐために、録画ランプを消灯させることができます。

1 MENUボタン → 2 (撮影設定2) → [録画ランプ] → 希望の設定を選ぶ。

全て点灯：すべての録画ランプを点灯する。

背面のランプのみ点灯：背面の録画ランプのみ点灯する。

全て消灯：すべての録画ランプを点灯しない。

撮影のテクニック

- カメラの撮影方向に、ガラスなど光が反射するものがある場合は、点灯するランプの設定を変更してください。

静止画に撮影日付を入れる

撮影した日付を静止画に挿入するように設定できます。

1 MENUボタン → 2 (撮影設定2) → [日付書き込み] → 希望の設定を選ぶ。

ご注意

- 静止画に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時にパソコンやプリンターで日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。
- [画質]が[RAW]または[RAW+JPEG]のときは日付は挿入されません。

ソフトウェアを活用する

以下のソフトウェアをパソコンにインストールすると、本機をもっと便利に活用できます。

- PlayMemories Home : パソコンへ画像を取り込んで活用する (72 ページ)
- Image Data Converter : RAW画像を表示・加工する
- Remote Camera Control : パソコンからUSBケーブルで接続したカメラを操作する

それぞれのソフトウェアは、以下のURLからパソコンにダウンロードしてインストールできます。

1 パソコンのインターネットブラウザで以下のURLにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

Windows :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/>

Mac :

<http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/>

- インターネット接続が必要です。
- 詳しい操作方法は、各ソフトウェアのサポートページまたはヘルプをご覧ください。

ご注意

- Remote Camera Controlを使用するときは、MENUボタン →  (セットアップ) → [USB接続] → [PCリモート] にしてから本機とパソコンを接続してください。

パソコンへ画像を取り込んで活用する (PlayMemories Home)

撮影した静止画、動画を、パソコンに取り込んで閲覧や活用ができます。
XAVC S動画やAVCHD動画をパソコンに取り込む場合は
PlayMemories Homeが必要です。

<http://www.sony.net/pm/>



カメラの画像をPCに取り込み



取り込んだ画像を再生



Windowsでは以下の機能も使えます。



カレンダーで
表示



動画ディスク
を作成



ネットワーク
サービスにアッ
プロード

PlayMemories Online
で画像をシェア



ご注意

- PlayMemories Online、各ネットワークサービスの利用にはインターネット接続が必要です。
- 2011年以前の機種に付属のソフトウェアPMB(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、PlayMemories Homeが上書きインストールされます。PMBの後継ソフトウェアPlayMemories Homeをご使用ください。
- PlayMemories Homeに新たに機能が追加されることがあります。すでにPlayMemories Homeがインストールされている場合でも、本機とパソコンを接続してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブル(付属)をはずさないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイのをクリックし、次に「[DSC-RX0の取り出し]」をクリックしてください。

Wi-Fi/Bluetooth機能を使う

本機のWi-Fi/Bluetooth機能を使って次のことが行えます。

- スマートフォンからカメラを操作する(74ページ)
- スマートフォンからカメラの電源を入/切する(81ページ)
- スマートフォンにカメラの画像を転送する(84ページ)
- パソコンに画像を保存する(85ページ)
- テレビに画像を転送して鑑賞する(詳しくはヘルプガイド(13ページ)をご覧ください)

スマートフォン用アプリをインストールする (PlayMemories Mobile)

スマートフォン/タブレットにPlayMemories Mobileをインストールすると、次のことができるようになります。

- スマートフォンからカメラを操作する(74ページ)
- スマートフォンからカメラの電源を入/切する(81ページ)
- スマートフォンにカメラの画像を転送する(84ページ)

PlayMemories Mobileの最新情報、機能詳細はこちらをご覧ください。



<http://www.sony.net/pmm/>

ご注意

- すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- 本書で説明しているWi-Fi/Bluetooth機能について、すべてのスマートフォンで動作を保証するものではありません。
- 本機のWi-Fi機能は公衆無線LANに接続して使用することはできません。
- アプリケーションの操作方法や画面表示は、将来のバージョンアップにより予告なく変更することがあります。

スマートフォンからカメラを操作する

Wi-FiやBluetooth通信でスマートフォンとカメラを接続して、スマートフォンからカメラを操作できます。

Wi-Fiシングル接続(74ページ)：

スマートフォンから1台のカメラを操作します。

Wi-Fiマルチ接続(77ページ)：

スマートフォンから複数のカメラを操作します。

Bluetooth接続(81ページ)：

スマートフォンからカメラの電源を入/切します。

Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する(シングル接続)

スマートフォンとカメラをWi-Fiで接続して、構図やカメラの設定をスマートフォンの画面で確認しながら撮影できます。



1 MENUボタン → ④(ネットワーク) →

[スマートフォン操作設定] を選び、以下のように設定する。

- [スマートフォン操作]：[入]
- [接続方式]：[シングル]

2 [スマートフォン操作設定]の[接続情報]を選ぶ。

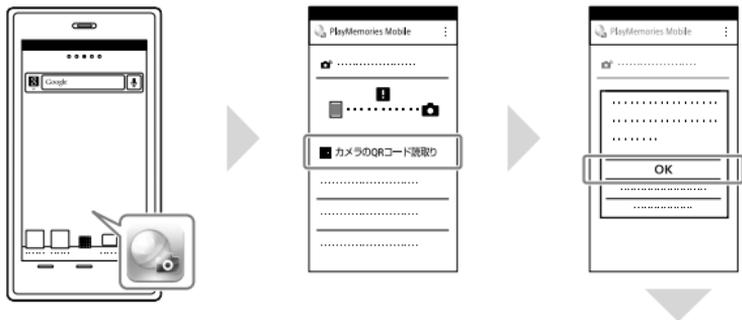
シングル接続専用のQRコードとSSIDが表示される。

3 スマートフォンにインストールしたPlayMemories Mobileで、カメラに表示されたQRコードを読み取る。

スマートフォンで
PlayMemories Mobileを
起動

[カメラのQRコード読み取り]
を選択

[OK]を選択(メッセージ
が表示されたら再度
[OK]を選択)



QRコードを読み取る



- iPhone/iPadにパスコードロックを設定している場合、パスコードの入力が必要になります。ご自身で設定したiPhone/iPadのパスコードを入力してください。

Androidの場合

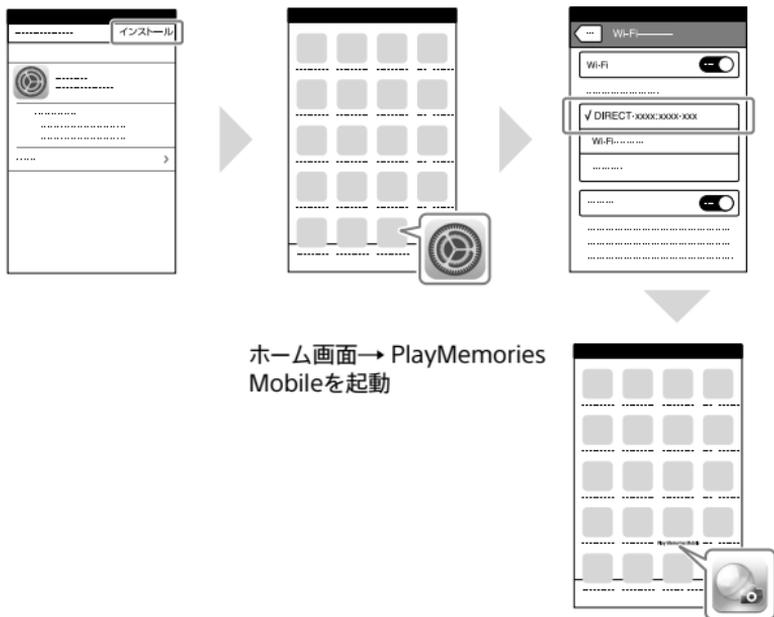
「カメラと接続しますか」と表示されたら [OK] を選択する。

iPhone/iPadの場合

[OK] を選択後、画面の指示に従ってインストールを完了する

ホーム画面→[設定]
→[Wi-Fi] を選択

SSID (DIRECT-xxxxx)
を選択



4 スマートフォンで本機を操作する。

- QRコードを読み込むと、カメラのSSID (DIRECT-xxxx) とパスワードがスマートフォンに登録され、2回目以降のWi-Fi接続時にSSIDを選ぶだけでカメラとスマートフォンを接続できるようになります。
- 上記の手順でスマートフォンを本機と接続できない場合は、スマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてから同じ操作をお試しください。または、本機のMENUボタン → ④(ネットワーク) → [ネットワーク設定リセット] を実行してください。
- QRコードでうまく接続できない場合はヘルプガイド(13ページ)を参照してください。

ご注意

- 通信環境や相手機器によって通信距離は変わります。
- 水中ではWi-Fi接続はできません。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- [スマートフォン操作]が[入]のとき、カメラのバッテリー消費は早くなります。[スマートフォン操作]を使わないときは、[切]に設定してください。
- 本機で[SSID・PWリセット]や[機器名称変更]を行った後は、以前読み取ったQRコードの情報ではWi-Fi接続ができなくなります。このときは、[ 接続情報]で新しいQRコードを表示させてから再度読み取ってください。

Wi-Fiでスマートフォンから複数のカメラを操作する (マルチ接続)

PlayMemories Mobileを使って、スマートフォンから複数のカメラを操作することができます。最大で5台のカメラを同時に操作できます。

マルチ接続では、1台のカメラを「グループオーナー」に設定してスマートフォンにWi-Fiで接続します。そのほかのカメラは「クライアント」としてグループオーナーにWi-Fiで接続します。クライアントは、グループオーナーを通してスマートフォンと通信します。



- グループオーナーまたはクライアントとして接続できるカメラは、「DSC-RX0」のみです。

1 グループオーナーとして接続するカメラで、MENUボタン →  (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] を選び、以下のように設定する。

- [スマートフォン操作] : [入]
- [ 接続方式] : [マルチ(グループオーナー)]

2 スマートフォンとグループオーナーを接続する。



以下の手順でスマートフォンに接続してください。

- ① グループオーナーで、[スマートフォン操作設定]の[ 接続情報]を選ぶ。
マルチ接続専用のQRコードとSSIDが表示される。
 - ② スマートフォンにインストールしたPlayMemories Mobileで、グループオーナーに表示されたQRコードを読み取る。
 - 「Wi-Fiでスマートフォンからカメラを操作する(シングル接続)」の手順3(75ページ)と同様の手順で、カメラをスマートフォンに接続してください。
- グループオーナーとして接続されると、グループオーナーの撮影画面に  が白で表示されます。

3 クライアントとして接続するカメラで、MENUボタン → (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定]を選び、以下のよう

に設定する。

- [スマートフォン操作]：[入]
- [ 接続方式]：[マルチ(クライアント)]

一度クライアントとして接続されたことがある場合は、前回接続したグループオーナーに自動的に接続されます。

初めてクライアントとして接続する場合や前回接続したグループオーナーと接続できない場合は、アクセスポイントの設定が必要です。

以下の手順に進んでください。

4 グループオーナーとクライアントを接続する。(初回のみ)



以下の手順でグループオーナーに接続してください。

- ① クライアントで[WPSプッシュ]を実行する。
- ② グループオーナーで、MENUボタン → (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [WPSプッシュ]を選ぶ。
 - MENUを開くと、一時的にスマートフォンとグループオーナー、クライアントの接続が切断されます。撮影画面に戻ると、自動的に再接続されます。
- ③ クライアントがグループオーナーのSSIDを検出したら、[確認]を選ぶ。
 - クライアントとして接続されると、クライアントの撮影画面に が白で表示されます。
 - さらにクライアントを追加する場合は、手順3と4を繰り返し行ってください。
 - すべてのクライアントの接続が終わったら、グループオーナーを撮影画面に戻してください。

- マルチ接続を2回目以降行うときは、前回グループオーナーとして接続したカメラをグループオーナーにすると、前回の設定のまま接続することができます。グループオーナーのカメラを変更する場合は、スマートフォンとグループオーナーの接続とグループオーナーとクライアントの接続を再度行う必要があります。
- クライアントで、MENUボタン →  (ネットワーク) → [スマートフォン操作設定] → [クライアント時のアクセスポイント] を選ぶと、マルチ接続のグループオーナーを確認、変更できます。

ご注意

- 通信環境や相手機器によって通信距離は変わります。
- 水中ではWi-Fi接続はできません。
- 電波環境やスマートフォンの性能によっては、スマートフォン上でライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- [スマートフォン操作] が[入]のとき、カメラのバッテリー消費は早くなります。[スマートフォン操作] を使わないときは、[切]に設定してください。
- グループオーナーで[SSID・PWリセット]や[機器名称変更]を行った後は、以前マルチ接続を行ったスマートフォンやクライアントからグループオーナーへのWi-Fi接続ができなくなります。このときは、手順2~4(78、79ページ)を再度行って、スマートフォンとグループオーナー、グループオーナーとクライアントを接続し直してください。
- MENU操作中はWi-Fi機能が一時的に無効になります。そのため、グループオーナーでMENU操作を行うと、すべてのクライアントとの接続またはスマートフォンとの接続が切断されます。一定時間内にMENUを閉じると、自動的に再接続されます。
- カメラを設置するときは、グループオーナーと最も遠くにあるクライアントとの距離がなるべく短くなるように設置してください。

Bluetooth機能でスマートフォンからカメラの電源を入/切する

本機とスマートフォンをBluetooth通信で接続して、本機の電源の入/切をスマートフォンから操作できます。

複数のカメラを同時に接続できます。Wi-Fiのマルチ接続(77ページ)とは異なり、複数のカメラが直接スマートフォンに接続されます。

対応するスマートフォン

- Android端末：Android 5.0以降でBluetooth 4.0以降対応*
- iPhone/iPad：iPhone 4S以降/iPad(第3世代)以降

- * 2017年9月時点の情報です。最新の情報はサポートページでご確認ください。
- * Bluetooth規格のバージョンは、お使いのスマートフォンの製品サイトでご確認ください。

事前に準備すること

事前に、以下の手順を行ってください。

- ① スマートフォンにPlayMemories Mobileをインストールする(73ページ)。
- ② PlayMemories Mobileに[カメラのリモート電源ON/OFF]機能を追加する。
スマートフォンとカメラをWi-Fiで接続してください(74ページ)。
一度Wi-Fiで接続すると、PlayMemories Mobileに[カメラのリモート電源ON/OFF]機能が追加されます。次回以降はWi-Fiでの接続は必要ありません。

Bluetooth接続(ペアリング)

カメラとスマートフォンをBluetooth通信で接続(ペアリング)します。初回のみ必要な操作です。

- ① スマートフォンのBluetooth機能が有効になっていることを確認する。
ここでは、Bluetooth機能のペアリング操作は不要です。
- ② カメラで、MENUボタン →  (ネットワーク) → [Bluetooth設定] → [Bluetooth機能] → [入]を選ぶ。

このとき、カメラの[リモート電源設定]も[入]になっていることを確認してください。

- ③ カメラで、MENUボタン →  (ネットワーク) → [Bluetooth設定] → [ペアリング] を選ぶ。
本機の機種名「DSC-RX0」がカメラのモニターに表示されます。
すでにBluetooth接続が完了している場合は、接続済みのスマートフォンの機種名が表示されます。
- ④ スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動して、
[カメラのリモート電源ON/OFF] を選ぶ。
[スキャン中] と表示され、接続できる機器のリストが表示されます。
[カメラのリモート電源ON/OFF] が表示されていない場合は、「事前に準備すること」(81ページ)を行ってください。
- ⑤ スマートフォンに表示されたリストで、「DSC-RX0」の右側の
[ペアリング] を選ぶ。
- ⑥ カメラに表示されたペアリングの確認画面で [確認] を選ぶ。
- ⑦ スマートフォンに表示されたペアリングの確認画面で [ペアリング] を
選ぶ。
- ⑧ カメラに表示されたBluetooth接続の完了画面で [確認] を選ぶ。
[Bluetooth設定] の画面に戻ります。

スマートフォンからカメラの電源を入/切する

「Bluetooth接続(ペアリング)」(81ページ)の手順⑧まで完了していれば、次回からは以下の手順のみでスマートフォンからカメラの電源を入/切することができます。

- ① スマートフォンでPlayMemories Mobileを起動して、
[カメラのリモート電源ON/OFF] を選ぶ。
- ② スマートフォンに表示されたリストで、「DSC-RX0」の右側の「」(電源マーク) を選ぶ。
カメラの電源が入っていない場合は電源が入り、「」(電源マーク) が緑色に変わります。
カメラの電源が入っている場合は電源が切れ、「」(電源マーク) が白色に変わります。

- スマートフォンには、Bluetooth接続されたカメラの台数分の機種名が表示されます。電源の入/切を操作したいカメラを選択してください。表示される機種名を変更する方法は、ヘルプガイド(13ページ)をご覧ください。

ご注意

- カメラを初期化すると、ペアリング情報も削除されます。再度ペアリングするには、スマートフォン側のペアリング情報を削除し、「Bluetooth接続(ペアリング)」(81ページ)を行ってください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、カメラとスマートフォンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 水中ではBluetooth機能は使えません。
- [Bluetooth機能]を[入]に設定しているときは、カメラの電源が入っていても少しずつバッテリーを消耗します。Bluetooth機能を使わないときは[切]に設定してください。
- 使用する環境によっては、Bluetooth機能とWi-Fi機能の通信距離が異なることがあります。

Wi-Fiでスマートフォンに画像を転送する

静止画や、動画記録方式をMP4にして撮影した動画を転送できます。

- カメラのメモリーカードに保存されていない画像は、スマートフォンに転送できません。

1 転送したい画像を本機で1枚再生する。

2 MENUボタン → 地球儀(ネットワーク)

→ [スマートフォン転送] →

[カメラから選ぶ] → [この画像]
を選ぶ。



MENUボタン

3 本機とスマートフォンをWi-Fiで接続する(74ページ)。

本機の画像がスマートフォンに転送される。

- 転送された画像はAndroidのギャラリー/アルバムまたは、iPhone/iPadのアルバムに保存されます。

Wi-Fiでパソコンに画像を保存する

あらかじめ、無線アクセスポイントまたは無線対応ブロードバンドルーターをパソコンにつないでください。

1 お使いのパソコンにPlayMemories Homeをインストールする。 (初回のみ)

<http://www.sony.net/pm/>

- インターネット接続が必要です。
- すでにPlayMemories Homeがインストール済みの場合でも、必ず最新版をウェブサイトからインストールしてください。
- ソフトウェアのインストール後に、パソコンとカメラをマルチ/マイクロUSBケーブル(付属)で接続し、Wi-Fi取り込み設定を行ってください。

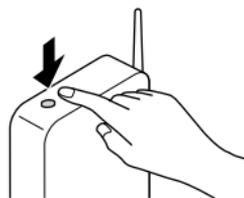
2 本機を無線アクセスポイントに接続する。(初回のみ)

以下のどちらかの手順で登録を行えない場合は、無線アクセスポイントの説明書をご参照いただくか管理されている方にお問い合わせください。

お使いの無線アクセスポイントにWi-Fi Protected Setup™(WPS)プッシュボタン*がある場合：

- ① カメラのMENUボタン → 地球儀(ネットワーク) → [Wi-Fi設定] → [アクセスポイント簡単登録]を選ぶ。
- ② 登録したい無線アクセスポイントのWi-Fi Protected Setup(WPS)ボタン*を押す。

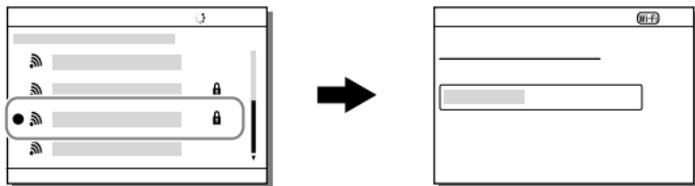
* 無線アクセスポイントがAOSSとWi-Fi Protected Setup (WPS)の両方に対応している場合は、AOSSボタンを押してください。



ワイヤレス機能を使う

お使いの無線アクセスポイントのSSIDとパスワードをご存知の場合：

- ① カメラのMENUボタン → 地球儀(ネットワーク) → [Wi-Fi設定] → [アクセスポイント手動登録]を選ぶ。
- ② 接続したい無線アクセスポイントを選び、無線アクセスポイントのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。



3 パソコンが起動していない場合は、パソコンの電源を入れる。

4 本機のMENUボタン → 地球儀(ネットワーク) → [パソコン保存]を選ぶ。

自動的に画像保存が開始される。

- 2回目以降は新しく撮影した画像のみ保存します。
 - 動画や複数枚の静止画を転送する場合、時間がかかります。
-

MENUボタンで選ぶ機能一覧

📷1 (撮影設定1)

| 画質/画像サイズ | |
|----------|--|
| 📷画質 | 静止画の画質を設定する。 (RAW / RAW+JPEG / エクストラファイン / ファイン / スタンダード) |
| 📷画像サイズ | 静止画のサイズを選択する。 (L:15M / M:7.7M / S:3.8M(3:2のとき) L:14M / M:6.9M / S:3.4M / VGA(4:3のとき) L:13M / M:6.5M / S:3.2M(16:9のとき) L:10M / M:5.2M / S:2.6M(1:1のとき)) |
| 📷横縦比 | 静止画の横縦比を選択する。 (3:2 / 4:3 / 16:9 / 1:1) |
| 📷高感度NR | 高感度撮影した場合のノイズ軽減処理を設定する。 (標準 / 弱 / 切) |
| 📷色空間 | 再現できる色の範囲を変更する。 (sRGB / AdobeRGB) |

| 撮影モード/ドライブ | |
|------------|--|
| 撮影モード | 撮影モードを選ぶ。 (おまかせオート / プレミアムおまかせオート / プログラムオート / マニュアル露出 / 登録呼び出し / 📷おまかせオート / 📷プログラムオート / 📷マニュアル露出 / ハイフレームレート) |
| ドライブモード | 連続撮影などの撮影方法を設定する。 (1枚撮影 / 連続撮影 / 速度優先連続撮影 / セルフタイマー / セルフタイマー(連続) / 連続ブラケット / 1枚ブラケット / ホワイトバランスブラケット / DROブラケット) |
| ブラケット設定 | ブラケットモード時のセルフタイマー撮影や、露出ブラケット/ホワイトバランスブラケットの撮影順序を設定する。 (ブラケット時のセルフタイマー / ブラケット順序) |

| | |
|--|---|
|  1/  2の呼び出し | [撮影モード]が[登録呼び出し]のとき、呼び出したい設定を選択する。 (1 / 2 / 3 / M1~M4) |
|  1/  2の登録 | 好みのモード、カメラの設定を登録する。 (1 / 2 / 3 / M1~M4) |

| AF | |
|---------------|--|
| フォーカスモード | ピント合わせの方法を選ぶ。 (シングルAF / プリセットフォーカス / マニュアルフォーカス) |
| フォーカスエリア | ピント合わせの位置を選ぶ。 (ワイド / 中央 / フレキシブルスポット / 拡張フレキシブルスポット) |
| ●ボタン押しロックオンAF | 撮影画面で●(決定)ボタンを押したとき、被写体を追尾する機能を設定する。 (入 / 切) |
| フォーカスエリア自動消灯 | フォーカスエリア表示を常に表示するか、ピントが合ったあと一定時間経過後に非表示にするかを設定する。 (入 / 切) |
| PF時のNEARモード | [プリセットフォーカス]時に、近距離にピントが合うように設定する。 (切 / 入) |
| フォーカス設定 | マニュアルフォーカス時に、フォーカス位置を調整する。 |

| 露出 | |
|-----------|--|
| シャッタースピード | シャッタースピードを指定する。 (1/4 ~ 1/32000) |
| 露出補正 | 画像全体の明るさを補正する。 (-3.0EV ~ +3.0EV) |
| ISO感度 | ISO感度を設定する。 (マルチショットNR / ISO AUTO / ISO 80~ISO 12800) |

| | |
|---------------------|--|
| ISO AUTO低速限界 | ISO AUTO時に、ISO感度が変わり始める低速側のシャッタースピードを設定する。 (より低速 / 低速 / 標準 / 高速 / より高速 / 1/32000~1/4) |
| 測光モード | 明るさを測る方法を選ぶ。 (マルチ / 中央重点 / スポット) |
| ☑シャッター半押しAEL | SHUTTER/MOVIEボタンを半押ししたときに、露出決定を行うかどうかを設定する。ピント合わせと露出決定を別々に行う設定にできる。 (オート / 入 / 切) |

| 色/WB/画像処理 | |
|--------------------|---|
| ホワイトバランス | 撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (オート / 太陽光 / 日陰 / 曇天 / 電球 / 蛍光灯 : 温白色 / 蛍光灯 : 白色 / 蛍光灯 : 昼白色 / 蛍光灯 : 昼光色 / 水中オート / 色温度・カラーフィルター / カスタム1~3 / カスタムセット) |
| DRO/オートHDR | 明るさ、コントラストを自動補正する。 (切 / Dレンジオブティマイザー / オートHDR) |
| クリエイティブスタイル | 好みの画像の仕上がりを選ぶ。 コントラスト、彩度、シャープネスの調整もできる。 (スタンダード / ビビッド / ニュートラル / クリア / ディープ / ライト / ポートレート / 風景 / 夕景 / 夜景 / 紅葉 / 白黒 / セピア / スタイルボックス1~6) |
| ピクチャーエフェクト | 好みの効果を使って、より印象的でアーティスティックな表現の画像を撮影できる。 (切 / ポップカラー / ポスタリゼーション / レトロフォト / ソフトハイキー / パートカラー / ハイコントラストモノクロ / ソフトフォーカス / 絵画調HDR / リッチトーンモノクロ / ミニチュア / 水彩画調 / イラスト調) |
| ピクチャープロフィール | 撮影する画像の発色、階調などの設定を変更できる。 (切 / PP1~PP7) |

| ピント補助 | |
|----------|--|
| ピント拡大時間 | 拡大表示する時間を設定する。 (2秒 / 5秒 / 無制限) |
| MFアシスト | 手動ピント合わせ時に画像を拡大表示する。 (入 / 切) |
| ピーキングレベル | マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定された色で強調表示する設定をする。 (高 / 中 / 低 / 切) |
| ピーキング色 | 輪郭を強調表示するピーキング表示の色を設定する。 (レッド / イエロー / ホワイト) |

| 顔検出/撮影補助 | |
|----------|---|
| 顔検出 | 人物の顔を自動でとらえ、ピントや露出を最適にする。 (切 / 入(登録顔優先) / 入) |
| 個人顔登録 | 優先してピントを合わせる人物の登録・編集を行う。 (新規登録 / 優先順序変更 / 削除 / 全て削除) |

📷2 (撮影設定2)

| 動画 | |
|----------|--|
| HFR露出モード | 撮りたい被写体や効果に合わせて、HFR撮影時の露出モードを選んで撮影する。 (プログラムオート / マニュアル露出) |
| 📽️記録方式 | 動画を記録するときの記録方式を設定する。 (XAVC S HD / AVCHD / MP4) |
| 📽️記録設定 | 動画のフレームレートとビットレートを選択する。 60p 50M / 30p 50M / 24p 50M / 120p 50M (XAVC S HDのとき) 60i 24M(FX) / 60i 17M(FH) / 60p 28M(PS) / 24p 24M(FX) / 24p 17M(FH) (AVCHDのとき) 1920×1080 60p 28M / 1920×1080 30p 16M / 1280×720 30p 6M(MP4のとき) |

| | |
|------------------------|--|
| HFR ハイフレームレート設定 | ハイフレームレート撮影の設定をする。 (HFR 記録設定 / HFR フレームレート / HFR 優先設定 / HFR 録画タイミング) |
| 同時ビデオ記録 | XAVC S動画またはAVCHD動画と、MP4動画を同時に記録するかを設定する。 (入 / 切) |
| 目 オートスローシャッター | 動画撮影時、被写体が暗いときに自動でシャッタースピードを遅くするかどうかを設定する。 (入 / 切) |
| 音声記録 | 動画撮影時、音声記録を行うかどうかを設定する。 (入 / 切) |
| 録音レベル | 録音レベルを調整する。 (0~31) |
| 音声レベル表示 | 音声レベルを画面に表示するかどうかを設定する。 (入 / 切) |
| 風音低減 | 動画撮影時、風音を低減する。 (入 / 切) |
| 目 マーカー表示 | 動画撮影時に、モニターにマーカーを表示するかを設定する。 (入 / 切) |
| 目 マーカー設定 | 動画撮影時に表示されるマーカーを設定する。 (センター / アスペクト / セーフティゾーン / ガイドフレーム) |
| 目 記録中モニター消灯 | 動画の撮影中、何も操作せずに約1分経過したときに自動的に画面を消灯するかどうかを設定する。 (入 / 切) |
| 録画ランプ | 録画時、被写体に録画ランプの光が映りこむことを防ぐために、録画ランプを消灯させる。 (全て点灯 / 背面のランプのみ点灯 / 全て消灯) |
| シャッター | |
| メモリーカードなしリリース | メモリーカードが入っていない状態で、シャッターが切れるかどうかを設定する。 (許可 / 禁止) |

| 表示/オートレビュー | |
|------------|--|
| ゼブラ | 明るさ調整の目安になるしま表示を設定する。 (切 / 70~100 / 100+ / カスタム1 / カスタム2) |
| グリッドライン | 構図を合わせるための線を表示する。 (3分割 / 方眼 / 対角+方眼 / 切) |
| ライブビュー表示 | モニターの表示に、露出補正などの設定値を反映するかどうかを設定する。 (設定効果反映On / 設定効果反映Off) |
| オートレビュー | 撮影したあと、撮った画像を表示するオートレビューの設定をする。 (10秒 / 5秒 / 2秒 / 切) |

| 操作カスタム | |
|---------------|---|
| カスタムキー(撮影) | あらかじめキーに機能を設定しておく、撮影時にキーを押すだけで設定しておいた機能を実行できる。 (●ボタン / 左ボタン) |
| ファンクションメニュー設定 | Fn(ファンクション)ボタンで表示する機能をカスタマイズする。 ( 画質 /  画像サイズ /  横縦比 / 撮影モード / ドライブモード / ブラケット時のセルフタイマー / フォーカスモード / フォーカスエリア / ●ボタン押しロックオンAF / PF時のNEARモード / シャッタースピード / 露出補正 / ISO感度 / ISO AUTO低速限界 / 測光モード / ホワイトバランス / DRO/オートHDR / クリエイティブスタイル / ピクチャーエフェクト / ピクチャープロフィール / ピーキングレベル / ピーキング色 / 顔検出 / HFR フレームレート / 録音レベル / 音声レベル表示 /  マーカー表示 / ゼブラ / グリッドライン / ライブビュー表示 / 電子音 / ガンマ表示アシスト / 未設定) |
| MOVIE(動画)ボタン | [カスタムキー(撮影)]で●(決定)ボタンまたは左ボタンに[MOVIE(動画)]を割り当てているときに、MOVIEボタンとして有効になるモードを設定する。 (常に有効 / 動画モードのみ有効) |
| 電子音 | 本機の操作時に鳴る音を設定する。 (入 / シャッター / 切) |

| | |
|---|---------------------------------------|
|  日付書き込み | 撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。 (入 / 切) |
|---|---------------------------------------|

🌐(ネットワーク)

| | |
|-----------------------------------|---|
| スマートフォン転送 | スマートフォンに画像を表示、転送する。 (カメラから選ぶ / スマートフォンから選ぶ) |
| パソコン保存 | 本機の画像をネットワークにつながれたパソコンに転送し、バックアップをとる。 |
| テレビ鑑賞 | ネットワークにつながれたテレビで画像を見る。 |
| スマートフォン操作設定 | スマートフォンで本機を遠隔操作して、静止画/動画を撮影する。撮影した静止画/動画はスマートフォンに保存することもできる。 (スマートフォン操作 / <input type="checkbox"/> 接続方式 / <input type="checkbox"/> 接続情報 / <input type="checkbox"/> WPSプッシュ / クライアント時のアクセスポイント) |
| 飛行機モード | 飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi/Bluetooth機能を使用する設定を一時的にすべて無効にする。 (入 / 切) |
| Wi-Fi設定 | Wi-Fiアクセスポイントの登録や、接続情報の確認と変更を行う。 (アクセスポイント簡単登録 / アクセスポイント手動登録 / MACアドレス表示 / SSID・PWリセット) |
| Bluetooth設定 | 本機とスマートフォンをBluetooth接続するための設定をする。 (Bluetooth機能 / ペ어링 / 機器アドレス表示) |
| <input type="checkbox"/> リモート電源設定 | Bluetooth接続されたスマートフォンから本機の電源を入/切する機能を設定する。 (切 / 入) |
| 機器名称変更 | Wi-Fi Directなどの機器名称を変更する。 |
| ネットワーク設定リセット | すべてのネットワーク設定をリセットする。 |

▶(再生)

| | |
|-----------|--|
| 撮影/再生切換 | 撮影モードと再生モードを切り換える。 |
| 削除 | 画像を削除する。 (画像選択 / このフォルダーの全画像 / この日付の全画像) |
| ビューモード | 再生する画像のグルーピング方法を設定する。 (日付ビュー / フォルダービュー (静止画) / フォルダービュー (MP4) / AVCHDビュー / XAVC S HDビュー) |
| 一覧表示 | 一覧表示する枚数を選ぶ。 (9枚 / 25枚) |
| スライドショー | 画像を連続再生する。 (リピート / 間隔設定) |
| 回転 | 画像を回転する。 |
| ⊕ 拡大 | 再生画像を拡大表示する。 |
| ⊕ 拡大の初期位置 | 静止画を拡大表示したときの初期位置を設定する。 (ピント位置 / 画面中央) |
| 4K静止画再生 | HDMI接続した4K対応テレビに4K解像度で静止画を出力する。 |
| プロテクト | 画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (画像選択 / このフォルダーの全画像 / この日付の全画像 / このフォルダーを全て解除 / この日付を全て解除) |
| プリント指定 | メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (画像選択 / 全画像解除 / 印刷設定) |

🔧(セットアップ)

| | |
|---------|----------------------------------|
| モニター明るさ | モニターの明るさを設定する。 (マニュアル / 屋外晴天) |
|---------|----------------------------------|

| | |
|---|---|
| ガンマ表示アシスト | S-Log画像をITU709相当の画像に変換し、モニターに表示する。 (切 / オート / S-Log2→709(800%)) |
| 音量設定 | 動画再生時の音量を設定する。 |
| タイトルメニュー | MENUボタンを押したときに、タイトルメニューを表示するかを設定する。 (入 / 切) |
| パワーセーブ開始時間 | 自動的に電源が切れる時間を設定する。 (30分 / 5分 / 2分 / 1分) |
| 自動電源OFF温度 | 撮影時に本機の電源が自動で切れる温度を設定する。 手持ちで撮影する際は[標準]に設定する。 (標準 / 高) |
| 上下反転 | 画像の上下を反転して記録する。音声も左右反対に記録する。上/下ボタン、左/右ボタンの機能も入れ替わる。 (入 / 切) |
| デモモード | 動画のデモンストレーションの入/切を設定する。 (入 / 切) |
| TC/UB設定 | タイムコード(TC)とユーザービット(UB)の設定をする。 (TC Preset / TC Reset / UB Preset / UB Reset / TC Format / TC Run / TC Make / UB Time Rec) |
| HDMI設定 | HDMIに関する設定を行う。 (HDMI解像度 /  24p/60p出力切換 / HDMI情報表示 /  TC出力 /  レックコントロール / HDMI機器制御) |
|  HDMI 4K映像出力 | 動画撮影時、レコーダーなどの4K対応機器と接続するときのHDMI出力を設定する。 (切 / 30p / 24p) |
| USB接続 | 接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。 (オート / マスストレージ / MTP / PCリモート) |
| USB LUN設定 | USB接続の機能を制限して互換性を高める。通常は[マルチ]のまま使い、どうしても接続できない場合のみ、[シングル]に設定する。 (マルチ / シングル) |

| | |
|------------------|--|
| USB給電 | 本機とパソコン、またはUSB機器をマイクロUSBケーブルで接続するとき、USB給電するかどうかを設定する。 (入 / 切) |
| PCリモート設定 | PCリモート撮影の設定をする。 (静止画の保存先 / RAW+J時のPC保存画像) |
| 日時設定 | 時計、日付の設定をする。 |
| エリア設定 | 本機を使用する場所に適した時刻に設定する。 |
| 著作権情報 | 撮影する静止画の著作権情報を設定する。 (著作権情報書き込み / 撮影者名設定 / 著作権者名設定 / 著作権情報表示) |
| フォーマット | メモリーカードをフォーマット(初期化)する。 |
| ファイル番号 | ファイル番号の付けかたを設定する。 (連番 / リセット) |
| ファイル名設定 | 撮影する静止画のファイル名の先頭3文字を変更する。 |
| 記録フォルダー選択 | 静止画と動画(MP4)を記録するフォルダーを設定する。 |
| フォルダー新規作成 | 静止画と動画(MP4)を記録する新しいフォルダーを作成する。 |
| フォルダー形式 | 静止画を記録するフォルダーの形式を設定する。 (標準形式 / 日付形式) |
| 管理ファイル修復 | 画像の管理ファイル修復を行い、記録・再生できるようにする。 |
| メディア残量表示 | 現在撮影可能な動画の時間と静止画の枚数を表示する。 |
| バージョン表示 | 本機のソフトウェアのバージョンを表示する。 |
| 認証マーク表示 | 本機が対応している認証情報を表示する(表示されるのは認証情報の一部のみになります)。 |
| 設定リセット | 設定をお買い上げ時の設定に戻す。すべての設定を初期値に戻す場合は、[初期化]を選ぶ。 (撮影設定リセット / 初期化) |

撮影モードごとの設定できない機能

選んでいる撮影モードや設定によって、設定できない機能があります。

○は選択可能、×は選択不可能を表しています。

| 撮影モード/ その他設定 | 露出補正 (45) | セルフ タイマー (49) | 連続撮影 (47) | ブラケット (47) | ISO (46) | オート HDR (89) |
|-----------------|--------------|---------------------|--------------|---------------|-------------|--------------------|
| iA iA+ (32) | × | ○ | ○ | × | × | × |
| P (34) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| M (39) | ×*1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| iiif (54) | × | × | × | × | × | × |
| iiifP (38) | ○ | × | × | × | ○ | × |
| iiifM (57) | ×*1 | × | × | × | ○ | × |
| HFR(60) | ○*1*2 | × | × | × | ○*2 | × |
| オートHDR | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ |

*1 撮影モードがMのときはISOが[ISO AUTO]のときのみ露出補正が可能です。

*2 HFR設定画面時のみ設定可能です。

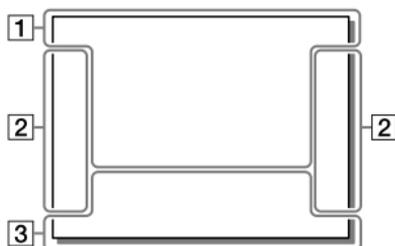
ご注意

- となっている機能でも、選択できない設定値がある場合があります。
- その他の条件によっても制限される場合があります。

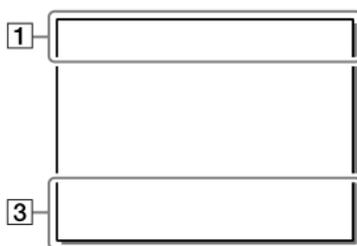
モニターに表示されるアイコン一覧

- 本機はモニターが小さいため、一部見えづらい文字やアイコンがあります。

撮影時



再生時



1

| 表示 | 意味 |
|--------|----------------|
| | 撮影モード (38) |
| | 登録呼び出し (51) |
| | メモリーカード |
| | シーン認識マーク (33) |
| 1時間30分 | 撮影可能時間 (104) |
| 100 | 撮影可能枚数 (103) |
| | 静止画の画像横縦比 (87) |

| 表示 | 意味 |
|--|-----------------|
| 15M 14M 13M 10M 7.7M 6.9M 6.5M 5.2M 3.8M 3.4M 3.2M 2.6M VGA | 静止画の画像サイズ (36) |
| RAW RAW+J X.FINE FINE STD | 静止画の画質 (37) |
| 120p 60p 60i 30p 24p | 動画のフレームレート (55) |
| | 動画の記録設定 (55) |
| | バッテリー容量 (23) |
| | バッテリー残量警告 (23) |
| | USB給電中 (26) |

| 表示 | 意味 |
|--------------------------------------|--|
| | Bluetooth接続 (81) |
| | スマートフォン操作 (シングル/マルチ(グループオーナー) / マルチ(クライアント)) 接続中/未接続 |
| | 飛行機モード (93) |
| | 重ね合わせ実行表示 (34) |
| | 動画音声記録オフ (91) |
| | 風音低減(91) |
| | 設定効果反映Off (92) |
| | 管理ファイルフル警告 / 管理ファイルエラー警告 |
| | 温度上昇警告 |
| | スポット測光サークル (89) |
| C:32:00 | 自己診断表示 |
| | 音声レベル表示 (91) |
| | ビューモード (94) |
| | |
| | |
| | |
| 100-0003 | フォルダー番号-ファイル番号 |
| XAVC S HD AVCHD MP4 | 動画の記録方式 (55) |

| 表示 | 意味 |
|-----------------------------|------------------------|
| | プロテクト (94) |
| DPOF | DPOF(プリント)指定 (94) |
| -PC- | PCリモート (95) |
| | 著作権情報書き込みオン (96) |
| 240fps 480fps 960fps | HFR撮影時のフレームレート (60) |
| | 録画タイミング (60) |
| Assist L S-Log2 | ガンマ表示アシスト (95) |
| | データ書き込み中/書き込み残り枚数 (47) |

2

| 表示 | 意味 |
|---|------------------|
| | ドライブモード (47、49) |
| BRK C BRK S 0.3EV3 0.3EV3 BRK C BRK S 0.3EV3 0.3EV3 BRK WB BRK DRO HI Lo WB HI DRO LO | |
| | 測光モード (89) |
| AF-S PF MF | フォーカスモード (40、57) |
| AWB AWB 7500K A5 G5 | ホワイトバランス (89) |

| 表示 | 意味 |
|----|---|
| | フォーカスエリア (40) |
| | DRO/オートHDR (89) |
| | クリエイティブスタイル (43) /コントラスト、 彩度、シャープネス |
| | ピクチャーエフェクト (89) |
| | ピクチャープロファイル (58) |
| | ゼブラ (92) |

3

| 表示 | 意味 |
|----------------|--------------------------|
| ● ロックオンAF | ロックオンAF用 ガイド表示 |
| ● ロックオンAF解除 | |
| ● フォーカス位置選択入/切 | フォーカスエリア設定 用ガイド表示 |
| ● NEARモードに設定 | プリセットフォーカス 用ガイド表示(58) |
| ● NEARモードを解除 | |

| 表示 | 意味 |
|------------------|------------------------------|
| ● フォーカス設定 | マニュアルフォーカス 用ガイド表示(41) |
| ● 撮影スタンバイ | HFR撮影用ガイド表示(60) |
| ● 撮影設定 | |
| | NEARモード(58) |
| | ブラケットインジケータ |
| STBY | 動画の録画スタンバイ |
| REC 0:12 | 動画の記録時間 (分:秒) |
| 1/250 | シャッタースピード (88) |
| F4.0 | 絞り値 (本機の絞り値はF4.0 固定です) |
| | メータードマニュアル (39) |
| | 露出補正值(45) |
| ISO400 | ISO感度(46) |
| | AEロック |
| | フォーカス指標 (40) |
| | ヒストグラム(35) |
| | ピクチャーエフェクト エラー(89) |
| | オートHDR画像警告 (89) |
| 2017-1-1 10:37AM | 撮影日時 |

| 表示 | 意味 |
|--|-------------------|
| 3/7 | 画像番号/ビューモード内画像枚数 |
| © | 著作権情報あり |
|   | レックコントロール (95) |

- 表示内容や表示位置は目安であり、実際とは異なる場合があります。

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

| 対応メモリーカード | 静止画 | 動画 | | |
|---------------------|-----|----------------|----------------|--------|
| | | MP4 | AVCHD | XAVC S |
| メモリースティック マイクロ (M2) | ○ | ○ (Mark2のみ) | ○ (Mark2のみ) | — |
| microSD メモリーカード | ○ | ○*1 | ○*1 | — |
| microSDHC メモリーカード | ○ | ○*1 | ○*1 | ○*2 |
| microSDXC メモリーカード | ○ | ○*1 | ○*1 | ○*2 |

*1 SDスピードクラス4(**CLASS 4**)以上、またはUHSスピードクラス1(**U1**)以上

*2 SDスピードクラス10(**CLASS 10**)、またはUHSスピードクラス1(**U1**)以上

- 記録できる枚数/時間については、103～104ページをご覧ください。容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。

ご注意

- microSDHCメモリーカードにXAVC SまたはMP4で長時間撮影した場合は、4GBのファイルに分割されます。PlayMemories Homeで結合することで、1つのファイルとして扱うことができます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる撮影枚数の目安は次のとおりです。

[画像サイズ] : [L:15M]

[横縦比] : [3:2] のとき*

| 画質 | 記録可能枚数 | | |
|-----------|--------|-------|--------|
| | 8GB | 32GB | 128GB |
| スタンダード | 1450枚 | 6000枚 | 24000枚 |
| ファイン | 880枚 | 3550枚 | 14000枚 |
| エクストラファイン | 660枚 | 2650枚 | 10500枚 |
| RAW+JPEG | 300枚 | 1200枚 | 4900枚 |
| RAW | 460枚 | 1850枚 | 7400枚 |

* [横縦比] を [3:2] 以外に設定しているときは、上記の枚数より多く記録できません (RAW設定時は除く)。

ご注意

- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。
- 記載の枚数は、当社製メモリーカード使用時の枚数です。

動画

本機でフォーマットしたメモリーカードに記録できる、動画ファイルの合計記録時間の目安です。[**録**記録方式]が[XAVC S HD]、[AVCHD]の数値は、[同時ビデオ記録]を[切]で使用したときの数値です。

| 記録方式 | 記録設定 | 記録可能時間 | | |
|-----------|-------------------|--------|---------|---------|
| | | 8GB | 32GB | 128GB |
| XAVC S HD | 120p 50M | 15分 | 1時間15分 | 5時間10分 |
| | 60p 50M | 15分 | 1時間15分 | 5時間10分 |
| | 30p 50M | 15分 | 1時間15分 | 5時間10分 |
| | 24p 50M | 15分 | 1時間15分 | 5時間10分 |
| AVCHD | 60i 24M(FX) | 40分 | 3時間 | 12時間5分 |
| | 60i 17M(FH) | 55分 | 4時間5分 | 16時間35分 |
| | 60p 28M(PS) | 35分 | 2時間30分 | 10時間15分 |
| | 24p 24M(FX) | 40分 | 3時間 | 12時間5分 |
| | 24p 17M(FH) | 55分 | 4時間5分 | 16時間35分 |
| MP4 | 1920×1080 60p 28M | 35分 | 2時間35分 | 10時間40分 |
| | 1920×1080 30p 16M | 1時間 | 4時間10分 | 16時間55分 |
| | 1280×720 30p 6M | 2時間35分 | 10時間55分 | 44時間10分 |

ご注意

- 動画の連続撮影可能時間は、最大約13時間です。
- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit-Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。
動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。
- 記載の時間は、当社製メモリーカード使用時の時間です。

動画の連続撮影についてのご注意

- 高精彩な動画や高速で連写を行うには多くの電力を必要とします。そのため連続して撮影し続けることでカメラ内部、特にイメージセンサーの温度が上昇します。その際、カメラ表面が高温になったり、画質への影響やカメラ内部に対する負荷が生じたりするため、自動的に電源が切れる仕様となっています。
- しばらく電源を切った状態から撮影を開始した場合、下記の連続動画撮影が可能です（記録開始から停止するまでの時間です）。

XAVC S HD (60p 50M)時

[自動電源OFF温度]：[標準]

| 環境温度 | [スマートフォン操作]：[切] | [スマートフォン操作]：[入] |
|------|-----------------|-----------------|
| 20°C | 約45分 | 約20分 |
| 30°C | 約25分 | 約15分 |
| 40°C | 約25分 | 約15分 |

XAVC S HD (60p 50M)時

[自動電源OFF温度]：[高]

| 環境温度 | [スマートフォン操作]：[切] | [スマートフォン操作]：[入] |
|------|-----------------|-----------------|
| 20°C | 約60分 | 約50分 |
| 30°C | 約60分 | 約50分 |
| 40°C | 約25分 | 約20分 |

- 連続動画撮影時間は温度環境や動画の記録方式・記録設定、Wi-Fiの接続環境、動画撮影前の使用状況により変動します。カメラの電源を入れ、構図確認や静止画撮影を繰り返し使用していた場合には、カメラ内部の温度が上昇しますので、上記の動画撮影時間より短くなります。
- [H]が表示された場合は、本機の温度が上がっています。
- 温度の上昇により動画撮影が停止した場合、電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度が下がってから撮影を再開してください。
- 以下の点に気を付けると、より長く動画を撮影することができます。
 - できるだけ直射日光を避ける
 - 使用しないときはこまめに電源を切る

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

- ① 以下の項目をチェックする。また、「ヘルプガイド(HTML)」も参照し、本機を点検する。

モニターに「C/E : □□ : □□」のような表示が出たときは、「ヘルプガイド」をご覧ください。

- ② バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

- ③ 設定リセットをする(96ページ)。

- ④ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.jp/support/r/cyber-shot/repair_service/



- ⑤ 相談窓口にお問い合わせ(裏表紙)。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、バッテリーロックレバーがロックするまで挿入してください(20ページ)。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(20ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- [Bluetooth機能](81ページ)を[入]に設定しているときは、カメラの電源が入っていても少しずつバッテリーを消耗します。Bluetooth機能を使わないときは[切]に設定してください。
- ソニー製純正のNP-BJ1タイプのバッテリーをご確認ください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます(4ページ)。
- 操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

モニターが自動で消える。

- [記録中モニター消灯]が[入]になっていると、動画撮影中何もせずに約1分経過したとき、モニターが消灯します。モニターを常に点灯したい場合は[切]に設定してください(91ページ)。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の充電ランプが点滅する。

- NP-BJ1タイプのバッテリーをご確認ください。
- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを本機に入れてください。
- 1年以上使用していないバッテリーは劣化の可能性があります。
- 充電に適した温度範囲外にあるため、充電の一時待機状態になっています。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行ってください。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードの表裏を確認し、奥まで挿入されているか確認してください(20ページ)。
- メモリーカードの空き容量を確認してください(96ページ)。いっぱいときは、下記のいずれかを行ってください。
 - 不要な画像を削除してください(68ページ)。
 - メモリーカードを交換してください。
- 動画撮影に使用できるメモリーカードは、102ページをご覧ください。
- [デモモード]を[切]にしてください(95ページ)。
- [メモリーカードなしリリース]を[許可]にしてください(91ページ)。ただし、本機にメモリーカードを入れていない状態では、画像は記録されません。
- セルフタイマーになっています。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。最短撮影距離(約50cm)より離して撮影してください。

録音できない。

- 撮影時に音声録音されていなかったり、小さい音で録音されてしまう場合は、内蔵マイク(17ページ)から水が抜け切れていない可能性があります。十分に水抜きしてからご使用ください(8ページ)。

再生

再生できない。

- メモリーカードの表裏を確認し、奥まで挿入されているか確認してください(20ページ)。
- パソコンでフォルダー/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するにはPlayMemories Homeをご使用ください。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

レンズ前面のガラスをきれいにする

レンズ前面のガラスに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下のことは行わないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類の使用
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

モニターのお手入れ

- 手の脂、ハンドクリームなどが付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- モニターに指紋やゴミが付いて汚れたときは、表面のゴミなどをやさしく取り除いてから、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

結露により本機の表面に水滴が付いた場合は拭き取ってください。本機の内部が結露した場合は、バッテリーカバーを開けて約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短くと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10°C ~ 30°Cの環境で充電してください。これ以外では、正常に充電できないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- 撮影には予定撮影時間の2 ~ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー(94ページ)を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われるので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

このカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考に、して故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときは相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この製品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、相談窓口にご相談ください。



禁止

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。



禁止

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。



禁止

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



禁止

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。



指示

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。



禁止

以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。
- [自動電源OFF温度]を[高]に設定してご使用になる場合。

つづき



下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

ワイヤレス機能ご使用上の注意

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを、ぬれた手や、水滴のかかる場所、湿気、ほこり、湯気が多い場所で使わない

機器本体以外は防水/防じん仕様ではありません。
感電の原因になることがあります。



禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



指示

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターは、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。



指示

危険 電池についての
安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大げや
やけど、火災などを避けるため、下記の注意
事項をよくお読みください。

危険

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテ
リーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオープン
で加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置し
ない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管し
ない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体でぬ
らさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。



禁止

警告

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり
するなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一
部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対
に使用しない。



禁止

注意

- 電池は、+、-を確かめ、正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から
取り出しておく。



指示



Li-ion

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にゼロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com/> を参照してください。

その他

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：13.2 mm×8.8 mm(1.0型)
CMOSセンサー

カメラ有効画素数：約1530万画素

総画素数：約2100万画素

レンズ：

ZEISS テッサー T*

単焦点レンズ

f=7.7 mm(24 mm(35 mmフィルム換算値))、F4.0

動画撮影時(HD 16:9)：24 mm

静止画記録方式：

JPEG(DCF、Exif、MPF Baseline)準拠、
RAW(ソニーARW 2.3フォーマット)、
DPOF対応

動画記録方式：

XAVC S方式(XAVC S規格準拠)：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：LPCM 2ch(48kHz 16bit)

AVCHD方式(AVCHD規格 Ver.2.0準拠)：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：Dolby Digital 2ch

ドルビーデジタルステレオクリエイター
搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

MP4方式：

映像：MPEG-4 AVC/H.264

音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch

記録メディア：

メモリースティック マイクロ、microSD
メモリーカード

[入/出力端子]

HDMI端子：HDMIマイクロ端子

マルチ/マイクロUSB端子*：USB通信

USB通信：Hi-Speed USB(USB 2.0)

* この端子にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。

● (マイク)端子：

Ø3.5 mmステレオミニジャック
(プラグインパワー対応)

[モニター]

液晶モニター：3.8 cm(1.5型)

総ドット数：230 400ドット

[電源・その他]

Model No. WW620081

定格：3.7 V  1.3 W

動作温度：0～40℃

保存温度：-20～55℃

外形寸法：約59.0×40.5×29.8 mm

(幅×高さ×奥行き)

質量：約110 g

(バッテリー、microSDカードを含む)

マイクロホン：ステレオ

スピーカー：モノラル

Exif Print：対応

PRINT Image Matching III：対応

[ワイヤレスLAN]

対応規格：IEEE 802.11b/g/n

使用周波数帯：2.4GHz帯

セキュリティ：WEP/WPA-PSK/
WPA2-PSK

接続方式：Wi-Fi Protected Setup™
(WPS) /マニュアル

アクセス方式：

インフラストラクチャーモード

[Bluetooth通信]

Bluetooth標準規格Ver. 4.1

使用周波数帯：2.4GHz帯

ACアダプターAC-UUD12

定格入力：

100-240 V 、50/60 Hz、0.2 A

定格出力：5 V 、1.5 A

リチャージャブルバッテリー パックNP-BJ1

定格：3.7 V 

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります
が、ご了承ください。

商標について

- メモリスティックおよび  はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- XAVC Sおよび  はソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby, Dolby Audio, ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- IOSは、シスコの登録商標または商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Android, Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi, Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- AOSSは、株式会社バッファローの商標です。

- DLNAおよびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。
- Facebook、“f”ロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していない場合があります。



GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

<http://oss.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMassStorage接続し、[PMHOME] -[LICENSE]内にあるファイルをご一読ください。

索引

ア行

| | |
|---------------|--------|
| アイコン一覧 | 98 |
| 明るさ | 45 |
| アクセスポイント 簡単登録 | 85 |
| アクセスポイント 手動登録 | 85 |
| 一覧表示 | 67 |
| 色空間 | 87 |
| 印刷 | 68, 94 |
| エリア設定 | 96 |
| オートHDR | 89 |
| オートスローシャッター | 91 |
| オートフォーカス | 40 |
| オートレビュー | 92 |
| おまかせオート | 33 |
| 音声記録 | 91 |
| 音声レベル表示 | 91 |
| 音量 | 66, 95 |

カ行

| | |
|--------------|-----|
| 回転 | 94 |
| 顔検出 | 90 |
| 拡大 | 94 |
| 拡大の初期位置 | 94 |
| 拡張フレキシブルスポット | 40 |
| 画質 | 37 |
| カスタムキー (撮影) | 52 |
| 画像サイズ | 36 |
| 画面表示一覧 | 98 |
| ガンマ表示アシスト | 95 |
| 管理ファイル修復 | 96 |
| 機器名称変更 | 93 |
| 記録可能枚数/時間 | 103 |
| 記録設定 (動画) | 55 |
| 記録中モニター消灯 | 91 |
| 記録フォルダー選択 | 96 |
| 記録方式 (動画) | 55 |

| | |
|-------------|----|
| クリア | 43 |
| クリエイティブスタイル | 43 |
| グリッドライン | 92 |
| 言語 | 3 |
| 高感度NR | 87 |
| 紅葉 | 43 |
| 個人顔登録 | 90 |
| コントラスト | 89 |

サ行

| | |
|--------------|--------|
| 再生 | 65, 66 |
| 削除 | 68 |
| 撮影 | 32 |
| 撮影可能枚数 | 25 |
| 撮影/再生切換 | 65, 66 |
| 撮影モード | 38 |
| 自動電源OFF温度 | 95 |
| シャープネス | 89 |
| シャッタースピード | 39, 57 |
| シャッター半押しAEL | 89 |
| 充電 | 23 |
| 上下反転 | 69 |
| 初期化 | 68, 96 |
| 白黒 | 43 |
| スーパースローモーション | 60 |
| スタンダード | 43 |
| スポット測光 | 89 |
| スマートフォン操作設定 | 74 |
| スマートフォン転送 | 84 |
| スライドショー | 94 |
| 設定リセット | 96 |
| セピア | 43 |
| ゼブラ | 92 |
| セルフタイマー | 49 |
| 操作音 | 69 |
| 測光モード | 89 |
| ソフトウェア | 71, 72 |

タ行

| | |
|--------------|--------|
| タイトルメニュー | 95 |
| 縦横比 | 87 |
| 著作権情報 | 96 |
| ディープ | 43 |
| デモモード | 95 |
| テレビ鑑賞(Wi-Fi) | 93 |
| テレビで見る | 68 |
| 電子音 | 69 |
| 動画 | 54, 66 |
| 動画記録設定 | 55 |
| 動画記録方式 | 55 |
| 同時ビデオ記録 | 91 |
| 登録 | 51 |
| 登録呼び出し | 51 |
| 時計合わせ | 27 |
| ドライブモード | 47, 49 |

ナ行

| | |
|--------------|----|
| 日時設定 | 28 |
| ニュートラル | 43 |
| 認証マーク表示 | 96 |
| ネットワーク設定リセット | 93 |

ハ行

| | |
|---------------|--------|
| バージョン表示 | 96 |
| ハイフレームレート撮影 | 60 |
| パソコン | 72 |
| パソコン保存(Wi-Fi) | 85, 93 |
| バッテリー | 20 |
| パワーセーブ開始時間 | 95 |
| ピーキング | 90 |
| ピクチャーエフェクト | 89 |
| ピクチャープロファイル | 58 |
| 飛行機モード | 93 |
| ヒストグラム | 35 |
| 左ボタンの機能 | 52 |
| 日付書き込み | 70 |
| ピビッド | 43 |

| | |
|--------------|--------|
| ビューモード | 94 |
| ピント拡大時間 | 90 |
| ファイル番号 | 96 |
| ファイル名設定 | 96 |
| ファンクションボタン | 30, 51 |
| 風音低減 | 91 |
| 風景 | 43 |
| フォーカスエリア | 40 |
| フォーカスエリア自動消灯 | 88 |
| フォーカススタンダード | 41, 58 |
| フォーカス設定 | 41 |
| フォーカスモード | 40, 57 |
| フォーカスロック | 41 |
| フォーマット | 68 |
| フォルダー形式 | 96 |
| フォルダー新規作成 | 96 |
| ブラケット | 47 |
| ブラケット設定 | 48 |
| プリセットフォーカス | 57 |
| プリント | 68, 94 |
| プレミアムおまかせオート | 33 |
| プログラムオート | 34 |
| プロテクト | 94 |
| ヘルプガイド | 13 |
| ポートレート | 43 |
| ボリュウム | 66 |
| ホワイトバランス | 89 |

マ行

| | |
|---------------|---------|
| マーカー設定 | 91 |
| マーカー表示 | 91 |
| マニュアルフォーカス | 41 |
| マニュアル露出 | 39, 57 |
| マルチショットNR | 46 |
| メディア残量表示 | 96 |
| メニュー | 31 |
| メモリーカード | 20, 102 |
| メモリーカードなしレリーズ | 91 |
| モニター明るさ | 94 |

ヤ行

| | |
|-----|----|
| 夜景 | 43 |
| 夕景 | 43 |
| 横縦比 | 87 |

ラ行

| | |
|----------|----|
| ライト | 43 |
| ライブビュー表示 | 92 |
| リセット | 96 |
| リモート電源設定 | 81 |
| 連続撮影 | 47 |
| 録音レベル | 91 |
| 録画ランプ | 70 |
| 露出補正 | 45 |
| ロックオンAF | 88 |

アルファベット順

| | |
|----------------------|--------|
| AF(オートフォーカス) | 40 |
| AVCHD | 55 |
| AWB | 89 |
| Bluetooth機能 | 73, 81 |
| Bluetooth設定 | 81 |
| DISP | 35 |
| DPOF | 99 |
| DRO/オートHDR | 89 |
| Dレンジオプティマイザー | 89 |
| Fn(ファンクション)ボタン | 30, 51 |
| HDMI 4K映像出力 | 64 |
| HDMI解像度 | 95 |
| HFR(ハイフレームレート) | 60 |
| Image Data Converter | 71 |
| ISO AUTO低速限界 | 89 |
| ISO感度 | 46 |
| JPEG | 37 |
| M(マニュアル露出) | 39 |
| Mac | 71, 72 |
| MACアドレス表示 | 93 |
| MENU | 31 |
| MFアシスト | 90 |

| | |
|-----------------------|--------|
| MF(マニュアルフォーカス) | 41 |
| MOVIE(動画)ボタン | 92 |
| P(プログラムオート) | 34 |
| PCリモート設定 | 96 |
| PF時のNEARモード | 58 |
| PlayMemories Home | 72 |
| PlayMemories Mobile | 73 |
| RAW | 37 |
| Remote Camera Control | 71 |
| SSID・PWリセット | 93 |
| TC/UB設定 | 95 |
| USB LUN設定 | 95 |
| USB給電 | 96 |
| USB接続 | 95 |
| WB | 89 |
| Wi-Fi | 73 |
| Wi-Fi設定 | 93 |
| Windows | 71, 72 |
| XAVC S HD | 55 |

記号・数字順

| | |
|---------------|----|
| ●ボタン押しロックオンAF | 88 |
| ●ボタンの機能 | 52 |
| 4K静止画再生 | 94 |

以下の機能の詳しい情報は、
「ヘルプガイド」をご覧ください

- 瞳AF
- ●ボタン押しロックオンAF
- ISO AUTO低速限界
- ピクチャープロフィール
- ガンマ表示アシスト
- TC/UB設定
- ピクチャーエフェクト
- クリエイティブスタイル

URL :

[http://rd1.sony.net/help/dsc/1710/
ja/](http://rd1.sony.net/help/dsc/1710/ja/)



サイバーショットの最新サポート情報

(製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>



ソフトウェアのサポート情報

<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

サイバーショットオフィシャル WEB サイト

<http://www.sony.jp/cyber-shot/>

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

………… **0120-333-020**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

………… **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル

………… **0120-222-330**

携帯電話・PHS・一部のIP電話

………… **050-3754-9599**

※ 取扱説明書等の購入相談はこちら
へお問い合わせください。



FAX (共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「401」+「#」(本機や付属品)

「404」+「#」(ソフトウェアPlayMemories Home)

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

